				シラバス			
				科目の基礎情報①			
授:	業形態	実技	科目名		サロンワ-	ークⅡ <i>ー</i> F	
必	修選択	選択必修	(学則表記)		サロンワー	ークⅡ – F	
			開講			単位数	時間数
:	年次	2年	学科	トータルビューティ	7一科	1	45
使	用教材	JNAテクニカルシス ベーシック/アドバ ネイル用具一式		IL	出版社	NPO法人日本ネイリスト	協会
			- 1 1 2	科目の基礎情報②	11 -		777.47
授業	のねらい			í術を学び、トラブルの回避を自 表現力を身につける	目身で考え対心	でき、実践を通して技術を	習得する
到:	達目標			満足の頂ける技術及び接客か 人を魅了することができる企画		実践することができる	
評	価基準	①授業態度他20%	%·接客態度他40	%・技術レベル30% ②レオ	₭—ト10%		
認	定条件	・出席が総時間数(・成績評価が2以上		5者			
関:	連資格	JNECネイリスト検定	3級⋅2級⋅1級/、	JNAジェルネイル検定初級・中	□級·上級		
関:	連科目	ネイル教科全般					
	備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	実施する。			
担	当教員	柳順一				実務経験	
実	務内容						
				各回の展開	習熟状	況等により授業の展開が	変わることがあり
回数	j	単元		HUNKI	内容		
1 14	年次復習						
2 サ	ロンワーク技術	<u> </u>					
3 サロンワーク技術							
4 サ	ロンワーク技術	ī					
5 サ	ロンワーク技術	ī					
6 サ	ロンワーク技術	ī					
7 サ	ロンワーク技術	ī		エーションや施術内容を設定 4の管理・接客対応・言葉遣い			ミレーションする
8 サ	ロンワーク技術		・施術内容だけで	でなく、集客方法の工夫やフラ Vを通じ、「美」を通す人を魅了	イヤー作成など	運営に関わる様々な分野	を学ぶ
۸ ب		Ξ	1				

サロンワーク技術

サロンワーク技術

サロンワーク技術

サロンワーク技術

サロンワーク技術

総まとめを行う

総合授業

10 サロンワーク技術

11

12

13

14

15

			シラバス						
科目の基礎情報①									
授業形態	授業形態 実技 科目名 サロンワークⅢ ーF								
必修選択	必修選択 選択必修 (学則表記) サロンワークⅢ-F								
		開講			単位数	時間数			
年次	2年	学科	トータルビューティ	/一科	1	45			
使用教材	JNAテクニカルシス ベーシック/アドバン ネイル用具一式		ル	出版社	NP0法人日本ネイリス	l-協会			
			科目の基礎情報②						
授業のねらい			画術を学び、トラブルの回避を自 表現力を身につける	目身で考え対応で	き、実践を通して技術を	生習得する			
到達目標			満足の頂ける技術及び接客が 人を魅了することができる企画		践することができる				
評価基準	①授業態度他20%	%·接客態度他40)%・技術レベル30% ②レオ	∜— ⊦ 10%					
認定条件	·出席が総時間数の ·成績評価が2以上		る者						
関連資格	JNECネイリスト検定	3級・2級・1級/	JNAジェルネイル検定初級・中	□級·上級					
関連科目	ネイル教科全般								
備考	原則、この科目は対	ーーーー 対面授業形式にて	 で実施する。						
担当教員	柳順一			美	務経験				
実務内容									
				22 ±4 .1 b 20	7年に11枚米の屋間が	**			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

	各回の展開						
回数	単元	内容					
1	前期振り返り						
2	サロンワーク技術						
3	サロンワーク技術						
4	サロンワーク技術						
5	サロンワーク技術						
6	サロンワーク技術						
7	サロンワーク技術	│ ・様々なシュチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシュミレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ					
8	サロンワーク技術	・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ 」					
9	サロンワーク技術						
10	サロンワーク技術						
11	サロンワーク技術						
12	サロンワーク技術						
13	サロンワーク技術						
14	サロンワーク技術						
15	総合授業	総まとめを行う					

シラバス										
科目の基礎情報①										
授業形態										
必修選択	必修選択 選択 (学則表記) 施設実習									
用講 単位数 時間数										
年次	2年	学科	トータルビューティ	′一科	2	80				
使用教材	実習手帳			出版社	_					
			科目の基礎情報②							
授業のねらい	学校で学んだ知	口識・技術の統括	を行い、企業実習を通して全	≧体的な組織・機	ー 態能及び運営を理解	· - - - - - - - - - - - - - - - - - - -				
到達目標	机上で学んだことをアウトプットし、現場・社会に触れることで求められる人物像やスキルを理解する。 同年代以外の人と関わる中で人間関係やマナー、気配りの重要性を理解する。									
評価基準	企業側評価6害	判(実習評価)、常	学校評価4割(実習手帳)							
認定条件	美容業種をして	 [いる企業・サロン	での実務労働80単位時間以	 头上						
関連資格										
関連科目										
備考	原則、この科目	は対面授業形式	にて実施する。							
担当教員	金永 真利那(他		実	務経験					
実務内容										

科目の基礎情報① 就職対策Ⅲ 授業形態 講義 科目名 必修選択 選択 (学則表記) 就職対策Ⅲ 開講 単位数 時間数 年次 2年 学科 トータルビューティー科 1 15 三幸学園 使用教材 就職ガイドブック 出版社 科目の基礎情報② 授業のねらい 就職内定をもらい、社会人としての基本知識を習得する 内定をもらう 到達目標 ビジネスマナーを身につける 就職の内定をもらえている 評価基準 社会人ビジネスマナーが理解できている テスト20% 提出物50% 授業態度30% 認定条件 出席が掃除関数の3分の2以上ある者 関連資格 成績評価が2以上のもの 関連科目 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 備考 担当教員 金永 真利那 他 実務経験 実務内容 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

	各回の展開					
回数	単元	内容				
1	はじめに	ミニスタプロ				
2	就職活動開始にあたって	就職規定・就職活動の流れの確認・就職状況確認				
3	就職活動開始にあたって	敬語について				
4	就職活動	電話について				
5	就職活動	面接時における注意事項				
6	就職活動	一般常識問題				
7	就職活動	面接練習・お礼状				
8	就職活動	WEB面接 就職状況確認				
9	テスト	就職規定·敬語·面接				
10	社会人ビジネスマナー	ビジネスマナーの敬語について				
11	就職活動	メールの送り方				
12	テスト	ビジネスマナーの敬語				
13	社会人になるにあたって	今の自分が求められる人材かを振り返る				
14	まとめ	まとめ				
15	まとめ	まとめ				

				シラバス							
	科目の基礎情報①										
	授業形態 講義 科目名 就職対策Ⅳ										
	必修選択 選択 (学則表記)										
			開講			単位数	時間数				
	年次	2年	学科	トータルビューティ	7一科	1	15				
	使用教材	就職ガイドブック			出版社	三幸学園					
				科目の基礎情報②							
授	受業のねらい	就職内定をもらい、	社会人としての基	基本知識を習得する							
	到達目標	内定をもらう ビジネスマナーを身	につける								
	評価基準	就職の内定をもら 社会人ビジネスマ		きている							
	認定条件	テスト20% 提出物	150% 授業態度	₹30%							
	関連資格	出席が掃除関数の 成績評価が2以上の		者							
	関連科目										
	備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	(実施する。							
	担当教員	金永 真利那 他			実	務経験					
	実務内容										
				タロの屈眼	習熟状況	等により授業の展開か	が変わることがあります				
回数		 単元		各回の展開							

		習熟状況等により授業の展開が変わることがあります
回数	単元	各回の展開 内容
1	卒業後の自分を考える	入社後どんな人間になっていていたいかを考える
2	今やるべき 5つの事リスト	卒業までに身に着けたいことを考えやることリストを考える
3	主体性と自主性について	主体性と自主性の違いをあらためて考える
4	マナーについて	一般常識について理解する
5	人間力をつける	社会人として求められている者を理解する
6	人間力をつける	愛される人材とは何か考えてみる
7	人間力をつける	メンタルトレーニング①
8	人間力をつける	メンタルトレーニング②
9	今やるべき 5つの事リスト	2週目に考えたリストの進捗状況を確認する
10	人間力をつける	よい人間関係を築くために、どのように行動したらいいのかを学ぶ
11	接客 ケーススタディ	ケースバイケースで、接客業で起こるアクシデントの対応を学ぶ
12	信頼関係の築き方	信頼されるには何をするとよいのかを考える
13	まとめ	卒業に向けて心をととのえる
14	まとめ	卒業に向けて心をととのえる
15	まとめ	就職に向けて気持ちをつくる

	シラバス									
科目の基礎情報①										
	授業形態	演習 科目名 着付け I								
	必修選択	選択	(学則表記)		着付けI					
		1	開講			単位数	時間数			
	年次 ————————————————————————————————————	2年	学科	トータルビューティー科		1	30			
	使用教材			締め(2)・腰ベルト・腰ひも(モスリ リップ(2本セット)足袋	出版社	桜花出版 KW				
	科目の基礎情報②									
授	受業のねらい	着付に関する知識・	技術を身につけ	ける。						
	到達目標	着付に関する技術の 技術の習得目安とし ・きもの着付け3級 を取得することが出	た。 (6月強制受験	る知識を蓄えることにより、今後の接客 免許強制)	いる。	ることが出来る。				
	評価基準	検定試験:40%	テスト:30%	授業態度:30%						
	認定条件	・出席が総時間数の ・成績評価が2以上		る者						
	関連資格	一般社団法人日本	きもの文化連絡	協議会もしくは、一般財団法人京都き	もの伝承ス	文化協会 きもの着の	付け資格			
	関連科目	着付けⅡ								
	備考	原則、この科目は対	面授業形式に	て実施する。						
	担当教員	林 三代 他		実務経験						
	実務内容	ブライダル式場、写: チャースクールの講		おいて花嫁、冠婚葬祭における各種着	付けの経	験有。着付け教室 <i>σ</i>)主宰や、カル			
習熟状況等により授業の										
					熟状況等に	より授業の展開が変	変わることがあります			
		—————————————————————————————————————		習 各回の展開 内容		こより授業の展開が変	変わることがあります			
回数	オリエンテーショ		授業の流れ、 サイズの確認	各回の展開	*					
			サイズの確認	各回の展開 内容	*					
1	オリエンテーショ	ン	サイズの確認 補整、長襦袢	各回の展開 内容 受業ルールについて、到達目標につい	で、教材小					
1 2	オリエンテーショ	<u>ک</u>	サイズの確認 補整、長襦袢 小紋の着付(を	各回の展開 内容 受業ルールについて、到達目標についての着せ方、たたみ方を学び実践する	で、教材小					
1 2 3	オリエンテーショ 小紋の着せ方1 小紋の着せ方2	<i>ک</i>	サイズの確認 補整、長襦袢 小紋の着付(を 小紋の着付(を 半幅帯(蝶結び	各回の展開 内容 受業ルールについて、到達目標について の着せ方、たたみ方を学び実践する 居線、衿合せ)、たたみ方を学び実践す	で、教材小					
1 2 3 4	オリエンテーショ 小紋の着せ方1 小紋の着せ方2 小紋の着せ方3	<u>ک</u>	サイズの確認 補整、長襦袢 小紋の着付(を 小紋の着付(を 小紋の着付(を 半幅帯(蝶結 小テスト(着物	各回の展開 内容 受業ルールについて、到達目標について の着せ方、たたみ方を学び実践する 居線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する お端折の作り方)を学び実践する び)の結び方を学び実践する	で、教材小					
1 2 3 4 5	オリエンテーショ 小紋の着せ方1 小紋の着せ方2 小紋の着せ方3 小紋の着せ方4	<u>ک</u>	サイズの確認 補整、長襦袢 小紋の着付(を 小紋の着付(を 小紋の着付(を 半幅帯(蝶結で 小紋の着付を	各回の展開 内容 受業ルールについて、到達目標につい の着せ方、たたみ方を学び実践する 居線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する お端折の作り方)を学び実践する が)の結び方を学び実践する の名称)を実施する	で、教材小					
1 2 3 4 5 6	オリエンテーショ 小紋の着せ方1 小紋の着せ方2 小紋の着せ方3 小紋の着せ方4 小紋の着せ方5	<i>y</i>	サイズの確認 補整、長襦袢 小紋の着付(を 小紋の着付を 小紋の着付を 小紋の着付を 小紋の着付を	各回の展開 内容 受業ルールについて、到達目標について の着せ方、たたみ方を学び実践する 居線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する 高端折の作り方)を学び実践する び)の結び方を学び実践する の名称)を実施する	で、教材小					
1 2 3 4 5 6 7	オリエンテーショ 小紋の着せ方1 小紋の着せ方2 小紋の着せ方3 小紋の着せ方4 小紋の着せ方5 小紋の着せ方6	<i>y</i>	サイズの確認 補整、長襦袢 小紋の着付(を 小紋の着付を 小紋の着付を 小紋の着付を 小紋の着付を 小紋の着付を	各回の展開 内容受業ルールについて、到達目標についての着せ方、たたみ方を学び実践する 居線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する 端折の作り方)を学び実践する び)の結び方を学び実践する の名称)を実施する 仕上げる(検定対策)	で、教材小					
1 2 3 4 5 6 7 8	オリエンテーショ 小紋の着せ方1 小紋の着せ方2 小紋の着せ方3 小紋の着せ方4 小紋の着せ方5 小紋の着せ方6 小紋の着せ方7	<i>y</i>	サイズの確認 補整、長襦袢 小紋の着付(を 小紋の着付を 小紋の着付を 小紋の着付を 小紋の着付を 小紋の着付を 小紋の着付を 小紋の着付を 小紋の着付を	各回の展開 内容 受業ルールについて、到達目標について の着せ方、たたみ方を学び実践する 居線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する 端折の作り方)を学び実践する び)の結び方を学び実践する の名称)を実施する 仕上げる(検定対策) 仕上げる(検定対策) 仕上げる(検定対策) 定試験の流れについて 級検定(小紋の着付と蝶結び20分)を	て、教材小					
1 2 3 4 5 6 7 8 9	オリエンテーショ 小紋の着せ方1 小紋の着せ方2 小紋の着せ方3 小紋の着せ方4 小紋の着せ方5 小紋の着せ方6 小紋の着せ方7 検定向上会	<i>y</i>	サイズの確認 補整、長襦袢 小紋の着付(を) 小紋の着付(を) 小紋の着付を 小紋の着付を 小紋の着付を 小紋の着付を 小紋の着付を かんぱん かんぱん かんぱん かんぱん かんぱん かんぱん かんぱん かんぱ	各回の展開 内容 受業ルールについて、到達目標について の着せ方、たたみ方を学び実践する 居線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する 端折の作り方)を学び実践する の名称)を実施する 仕上げる(検定対策) 仕上げる(検定対策) 仕上げる(検定対策) を試験の流れについて 級検定(小紋の着付と蝶結び20分)を を実施する 用語(プリント①②)について	て、教材小					
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	オリエンテーショ 小紋の着せ方1 小紋の着せ方2 小紋の着せ方3 小紋の着せ方4 小紋の着せ方5 小紋の着せ方6 小紋の着せ方7 検定向上会 検定試験	<i>y</i>	サイズの確認 神整、長着付付(を)が、 は なの 着付付(を)が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	各回の展開 内容 受業ルールについて、到達目標について の着せ方、たたみ方を学び実践する 居線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する 端折の作り方)を学び実践する の名称)を実施する 仕上げる(検定対策) 仕上げる(検定対策) 仕上げる(検定対策) を試験の流れについて 級検定(小紋の着付と蝶結び20分)を を実施する 用語(プリント①②)について	実施する	物の説明・記名、考				
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	オリエンテーショ 小紋の着せ方1 小紋の着せ方2 小紋の着せ方3 小紋の着せ方4 小紋の着せ方5 小紋の着せ方6 小紋の着せ方7 検定向上会 検定試験 座学1	せ方	サイズの 権認 神 (を	各回の展開 内容 受業ルールについて、到達目標について の着せ方、たたみ方を学び実践する 居線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する 端折の作り方)を学び実践する の名称)を実施する 仕上げる(検定対策) 仕上げる(検定対策) 仕上げる(検定対策) を主試験の流れについて 級検定(小紋の着付と蝶結び20分)を を実施する 用語(プリント①②)について 知する	実施する	物の説明・記名、考				
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	オリエンテーショ 小紋の着せ方1 小紋の着せ方2 小紋の着せ方3 小紋の着せ方4 小紋の着せ方5 小紋の着せ方6 小紋の着せ方7 検定向上会 検定試験 座学1 浴衣の着方・着	ン せ方 51	サイズの確認 神小 が 紋 の 着付 は が が 紋 の 着付 は 着物 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	各回の展開 内容受業ルールについて、到達目標についての着せ方、たたみ方を学び実践する 居線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する 端折の作り方)を学び実践する の名称)を実施する 仕上げる(検定対策) 仕上げる(検定対策) 仕上げる(検定対策) を試験の流れについて 級検定(小紋の着付と蝶結び20分)をを実施する 用語(プリント①②)について 知する	実施する	物の説明・記名、考				

科目の基礎情報① 着付けⅡ 授業形態 演習 科目名 必修選択 選択 (学則表記) 着付けⅡ 開講 単位数 時間数 年次 2年 学科 トータルビューティー科 1 30 教本・衿芯・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(モスリ 桜花出版 KW 使用教材 出版社 ン(4点))・和装スリップ(下着)・クリップ(2本セット)足袋 科目の基礎情報② 着付に関する知識・技術を身につける。 授業のねらい 着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 到達目標 ・きもの着付け2級(12月強制受験 免許任意) を取得することが出来る。 評価基準 検定試験:40% テスト:30% 授業態度:30% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格 関連科目 着付け I

原則、この科目は対面授業形式にて実施する。

チャースクールの講師も務める。

林 三代 他

備考

担当教員

実務内容

0

実務経験

		習熟状況等により授業の展開が変わることがあります
		各回の展開
回数	単元	内容
1	振袖の着せ方1	授業の流れ、到達目標について説明する、考査票の記入、補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
2	振袖の着せ方2	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
3	振袖の着せ方3	ふくら雀の結び方について学び実践する
4	振袖の着せ方4	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
5	振袖の着せ方5	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
6	振袖の着せ方6	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
7	振袖の着せ方7	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
8	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
9	検定試験	きもの着付け2級検定試験(振袖にふくら雀30分)を実施する
10	座学2	着物のTPO(プリント③④)について
11	小紋の着方1	小紋の着方(自装)を学び実践する
12	小紋の着方2	名古屋帯のお太鼓結び(自装の仕上げ)、着物の立居振舞を学び実践する
13	留袖の着せ方1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
14	留袖の着せ方2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
15	総合学習	女袴の着せ方と総まとめを行う

ブライダル式場、写場、ホテル等において花嫁、冠婚葬祭における各種着付けの経験有。着付け教室の主宰や、カル

	シラバス										
	科目の基礎情報①										
	授業形態	演習	科目名	科目名 ヘアアレンジ Ⅱ							
	必修選択	選択	(学則表記)	ヘアアレンジ Ⅱ							
			開講			単位数	時間数				
	年次	2年	学科	トータルビューティ	/一科 	1	45				
	使用教材	ヘアアレンジ道具ー	-式、ヘアアレンジ	テキスト	出版社	ユアサポート					
	科目の基礎情報②										
打	受業のねらい	1年次に学んだ基礎	を技術を応用し和	装から洋装までシーンに合わり	せたヘアアレンジ	支術を現場を意識して写	実践できるようにする				
	到達目標	様々なスタイル技術 お客様のオーダー		の展開図を理解する							
	評価基準	テスト50%、提出物	30% 授業意欲	3 20%							
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上の		者							
	関連資格										
	関連科目	ヘアアレンジ I Ⅲ、	ブライダルメイク〕	[Ⅱ、アーティストメイク [Ⅱ							
	備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	実施する。							
	担当教員	児玉 美保			実	務経験	0				
	実務内容	2004年~2008年 成人式等のイベント		として美容室に勤務。 2008年 けを担当。	手~現在 結婚式	場にて新郎新婦のブラ	イダルヘアメイクや、				
				各回の展開	習熟状況	兄等により授業の展開が	変わることがあります				
回数		単元			内容						
1	オリエンテーショ 1年次復習	ン	授業の目的目標 1年次復習(ピン	₹、評価基準、授業ルール ・ホットカーラー・ヘアアイロンな	など)/振り返り						
2	テーマに合わせ	たスタイル①	テーマに合わせ	て展開図を作りスタイルを考え	る(導入・練習)						
3	テーマに合わせ	たスタイル②	テーマに合わせ	て展開図を作りスタイルを考え	る(練習)						
4	テーマに合わせ	たスタイル③	テーマに合わせ	て展開図を作りスタイルを考え	る(テスト・振り返り	J)					
5	土台の作り方 逆毛の立て方・	土台の作り方 土台(導入・練習) ジ毛の立て方・すき毛の使用 逆毛・すき毛(導入・練習)									
6		9さ七の使用	逆毛・すき毛(導								
	夜会巻①	9 さ毛の使用	逆毛・すき毛(導 夜会巻・本夜会	[入·練習)							
7	夜会巻①	すさもの使用		:入·練習) (導入·練習)							
		9 さもの使用	夜会巻·本夜会夜会巻·本夜会	:入·練習) (導入·練習)							
7	夜会巻②		夜会巻・本夜会夜会巻・本夜会重ね夜会・本夜	(導入·練習) (導入·練習) (練習))						
7 8	夜会巻② 夜会巻③	イル①	夜会巻・本夜会 夜会巻・本夜会 重ね夜会・本夜 トレンドから取り7 展開図作成	:入・練習) (導入・練習) (練習) 会(テスト・振り返り))						
7 8 9	夜会巻② 夜会巻③ 和装・洋装スター	イル①	夜会巻・本夜会 夜会巻・本夜会 重ね夜会・本夜 トレンドから取り7 展開図作成 トレンドから取り7 展開図作成	入・練習)(導入・練習)(練習)会(テスト・振り返り)へれたスタイル作り(導入・練習)							
7 8 9	夜会巻② 夜会巻③ 和装・洋装スター 和装・洋装スター	イル① イル② イル③	夜会巻・本夜会 夜会巻・本夜会 重ね夜会・本夜 トレンドから取り 展開図作成 トレンドから取り 展開図作成 トレンドから取り 展開図作成	(導入・練習)(導入・練習)(練習)会(テスト・振り返り)へれたスタイル作り(導入・練習)へれたスタイル作り(練習)							
7 8 9 10	夜会巻② 夜会巻③ 和装・洋装スター 和装・洋装スター	イル① イル② イル③	夜会巻・本夜会 夜会巻・本夜会 重ね夜会・本夜会 上レンドから成 トレンドから取り 展開図作成 トレンドから取り 展開図作成 トレンドから取り 展開図作成	(導入・練習)(導入・練習)(練習)会(テスト・振り返り)へれたスタイル作り(導入・練習)へれたスタイル作り(練習)へれたスタイル作り(導入・練習))						

15 総合授業

まとめを行う

	シラバス							
		T		科目の基礎情報①				
	授業形態	演習	科目名	ヘアアレンジⅢ				
	必修選択	選択	(学則表記)	ヘアアレンジⅢ				
			開講			単位数	時間数	
	年次 ————————————————————————————————————	2年	学科	トータルビューティ	ィー科 	1	45	
	使用教材	ヘアアレンジ道具ー	・式、ヘアアレンジ	テキスト	出版社	ユアサポート		
				科目の基礎情報②				
抽	受業のねらい	1年次に学んだ基礎	を技術を応用し和	装から洋装までシーンに合わ 	せたヘアアレンジ	技術を現場を意識して	実践できるようにする	
	到達目標	様々なスタイル技術 お客様のオーダーi		の展開図を理解する				
	評価基準	テスト50%、提出物	130% 授業意欲	220%				
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上の		者				
	関連資格							
	関連科目	ヘアアレンジⅠⅡ、	ブライダルメイク]	I Ⅱ、アーティストメイク I Ⅱ				
	備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	実施する。				
	担当教員	児玉 美保			実	務経験	0	
	実務内容	2004年~2008年 成人式等のイベント		として美容室に勤務。 2008年 けを担当。	年~現在 結婚式	場にて新郎新婦のブラ	5イダルヘアメイクや、 -	
				冬回の展開	習熟状況	兄等により授業の展開か	であることがあります	
回数		単元		各回の展開	内容	己等により授業の展開か	変わることがあります	
回数	新日本髪①	単元	授業の目的目標 新日本髪(導入	票、評価基準、授業ルールの再	内容	R等により授業の展開カ	「変わることがあります	
		単元		票、評価基準、授業ルールの評 ・練習)	内容	え等により授業の展開か	で変わることがあります	
1	新日本髪①	単元	新日本髪(導入新日本髪(練習)新日本髪(テスト	票、評価基準、授業ルールの評 ・練習)) ・・振り返り)	内容 再確認	え等により授業の展開か	で変わることがあります	
1 2	新日本髪① 新日本髪②		新日本髪(導入 新日本髪(練習) 新日本髪(テスト トレンドから取り/ 展開図作成	票、評価基準、授業ルールの平 ・練習)) ・・振り返り) 、れたスタイル作り(導入・練習	内容 再確認	記等により授業の展開 <u>か</u>	で変わることがあります	
1 2 3	新日本髪① 新日本髪② 新日本髪③	1µ①	新日本髪(導入 新日本髪(練習) 新日本髪(テスト トレンドから取り/ 展開図作成 トレンドから取り/ 展開図作成	票、評価基準、授業ルールの字 ・練習)) ・・振り返り) 、れたスタイル作り(導入・練習 、れたスタイル作り(練習)	内容 再確認 (1)	記等により授業の展開か	で変わることがあります	
1 2 3 4	新日本髪① 新日本髪② 新日本髪③ 和装·洋装スター	イル① イル②	新日本髪(導入 新日本髪(練習) 新日本髪(テストトレンドから取りみ 展開図作成 トレンドから取りみ 展開図作成 トレンドから取りみ 展開図作成	票、評価基準、授業ルールの評 ・練習)) ・・振り返り) 、れたスタイル作り(導入・練習 、れたスタイル作り(練習)	内容 再確認 (1)	記等により授業の展開か	であることがあります	
1 2 3 4 5	新日本髪① 新日本髪② 新日本髪③ 和装·洋装スター	イル① イル② イル③	新日本髪(導入 新日本髪(練習) 新日本髪(テスト トレンドから成 トレンドから取りみ 展開図作成 トレンドから取りみ 展開図作成 トレンドから取りみ 展開図作成	票、評価基準、授業ルールの評・練習) ・・振り返り) 、れたスタイル作り(導入・練習) 、れたスタイル作り(練習) 、れたスタイル作り(練習)	内容 再確認 '')	記等により授業の展開か	であることがあります	
1 2 3 4 5 6	新日本髪① 新日本髪② 新日本髪③ 和装·洋装スター 和装·洋装スター	イル① イル② イル③ イル④	新日本髪(導入 新日本髪(練習) 新日本髪(テスト トレンドから成 トレンドから成 トレンドから成 トレンドから成 トレンドから成 トレンドから成 トレンドから成 トレンドから成 トレンドから成 トレンドから成 トレンドから成	票、評価基準、授業ルールの評・練習) ・・振り返り) 、れたスタイル作り(導入・練習) 、れたスタイル作り(練習) 、れたスタイル作り(導入・練習) 、れたスタイル作り(練習)	内容 再確認 '')	記等により授業の展開か	で変わることがあります	
1 2 3 4 5 6 7	新日本髪① 新日本髪② 新日本髪③ 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター	11L1) 11L2) 11L3) 11L4) 11L5)	新日本髪(導入 新日本髪(練習) 新日本髪(テストレンドから成 展開というでは、取りりが 展開というでは、取りが になった。これでは、取りが になった。これでは、取りが になった。これでは、取りが になった。これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、	原、評価基準、授業ルールの系・練習) ・・振り返り) へれたスタイル作り(導入・練習) へれたスタイル作り(導入・練習) へれたスタイル作り(導入・練習) へれたスタイル作り(練習) へれたスタイル作り(練習)	内容 再確認 (*)	記等により授業の展開か	であることがあります	
1 2 3 4 5 6 7 8	新日本髪① 新日本髪② 新日本髪③ 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター	1111 1112 1113 1114 1115 1116	新日本髪(導入 新日本髪(練習) 新日本髪(練習) 新日本髪(テスト トレ開ンド図が作りが展りが展りが展りが作りでであ成。取りが展がかれた。 展別がが作りができる成。取りが展りが展別ができる成。取りが展別ができる成。取りが展別ができる成。取りが展別ができる成。 トレンドの作りがによりができる成。 トレンドの作りができる。	原、評価基準、授業ルールの記録習) ・・振り返り) 、れたスタイル作り(導入・練習) 、れたスタイル作り(導入・練習) 、れたスタイル作り(導入・練習) 、れたスタイル作り(導入・練習) 、れたスタイル作り(導入・練習) 、れたスタイル作り(導入・練習) 、れたスタイル作り(導入・練習)	内容 再確認 (*)	記等により授業の展開か	であることがあります	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	新日本髪① 新日本髪② 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター	11L1 11L2 11L3 11L4 11L5 11L6	新日本髪(導) 新日本髪(練習) 新日本人に関いた関いた関いた関いた関いた関いが作りがでのがかれたのででででででででいる。 お成の取がのででである。 お成の取がのででである。 おのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	原、評価基準、授業ルールの評・練習) ・・振り返り) 、れたスタイル作り(導入・練習) 、れたスタイル作り(導入・練習) 、れたスタイル作り(導入・練習) 、れたスタイル作り(導入・練習) 、れたスタイル作り(導入・練習) 、れたスタイル作り(練習) 、れたスタイル作り(練習)	内容 再確認 (*)			
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	新日本髪① 新日本髪② 和芸・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター	11L1 11L2 11L3 11L4 11L5 11L6	新日本髪(導剤) トレ展 トレ展 トレス 取り ア 大 取成	で、評価基準、授業ルールの評・練習) ・・振り返り) 、れたスタイル作り(導入・練習) 、れたスタイル作り(練習)	内容再確認	作に伴うヘアアレンジデ	゚ザイン(展開図作成・	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	新日本髪① 新日本髪② 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター	11L1 11L2 11L3 11L4 11L5 11L6	新日日 トレ展 トレ展 トレ展 トレ展 トレス 取り ル 展 トレス 取り ル ス ア ま ま で ま で ま で ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま	で、評価基準、授業ルールの手・練習) ・・振り返り) 、れたスタイル作り(導入・練習) 、れたスタイル作り(練習) 、れたスタイル作り(導入・練習) 、れたスタイル作り(導入・練習) 、れたスタイル作り(練習) 、れたスタイル作り(練習) 、れたスタイル作り(練習) 、れたスタイル作り(練習) 、れたスタイル作り(練習) 、れたスタイル作り(練習) 、て行う、若しくは他のメイク授業 で行う、若しくは他のメイク授業	内容再確認	作に伴うヘアアレンジデ	ザイン(展開図作成・	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	新日本髪① 新日本髪② 和芸・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター 和装・洋装スター を業制作①	11L1 11L2 11L3 11L4 11L5 11L6	新日日 トレ展 トレ展 トレ展 トレ展 トレス 取り ル 展 トレス 取り ル ス ア ま ま で ま で ま で ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま	で、評価基準、授業ルールの評・練習) ・・振り返り) 、れたスタイル作り(導入・練習) 、れたスタイル作り(練習)	内容再確認	作に伴うヘアアレンジデ	ザイン(展開図作成・	

シラバス										
科目の基礎情報①										
授業形態	授業形態 講義 科目名 ビューティーカウンセラーメイク I									
必修選択	選択	(学則表記)		ビューティーカウン	/セラーメイク I					
		開講			単位数	時間数				
年次	2年	学科	トータルビューティ	7一科	4	60				
使用教材	メイク道具一式、ブ メイクアップテキスト 化粧品検定協会テ	アドヴァンス (デジ	タルテキスト)	出版社	ユアサポート 主婦の友社					
			科目の基礎情報②							
授業のねらい	イメージに合わせた スキンケア・スキング		所を学び、イメージを意識したメ こついてを習得する	イク技術を実践す	⁻ る					
到達目標			通じて、人物に合うメイクを施っ の悩みを解消できるようになる							
評価基準	テスト30%、検定取	7得20%、提出物	30% 授業意欲20%							
認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上の		 者							
関連資格	メイク検定アドヴァン	⁄ス、日本化粧品								
関連科目	ビューティーカウンも	zラーメイク II 、サ	-ロンワーク I -E、サロンワーク	II −Е						
備考	原則、この科目は対	サ面授業形式にて	実施する。							
担当教員	原辺 綾子			実	務経験	0				

2000年~2005年、エステティックサロンのスクール部門でメイクとパーソナルカラーの講師の経験有。 2006年~2012年、広島三越にて美容部員として勤める。

実務内容

習孰状況等に	トロは米の田田	まが亦わるー	レがも日士す
古が が、ボーデー	よ ひてる キリノ 肚 田	リカンタ オフタ) 二	と かかりま 9

	各回の展開								
回数	単元	内容							
1	オリエンテーションアドヴァンス検定詳細説明/対策①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの詳細説明/練習							
2	アドヴァンス検定対策②	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を 行う/筆記対策							
3	アドヴァンス検定対策③	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を 行う/筆記対策							
4	アドヴァンス検定対策④	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を 行う/筆記対策							
5	アドヴァンス検定対策⑤	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を 行う/筆記対策							
6	アドヴァンス検定対策⑥	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を 行う/筆記対策							
7	アドヴァンス検定対策⑦	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を 行う/筆記対策							
8	アドヴァンス検定対策⑧	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を 行う/筆記対策							
9	化粧品検定級対策① 間違いな美容知識をチェック	1年次復習							
10	化粧品検定級対策② 皮膚・肌について知ろう	皮膚の構造~皮膚の機能(大項目)							
11	化粧品検定級対策③ 肌の手入れと正しい知識	メイクアップの基本テクニック~肌悩みに応じた化粧品の使い方(大項目)							
12	化粧品検定級対策④ 肌の手入れと正しい知識	肌タイプと見分け方~肌悩みに原因とお手入れ(大項目)							
13	化粧品検定級対策⑤ 美肌・美ボディ生活を送るには	肌を劣化させるさまざまな要因~美しい肌を作る生活習慣(大項目)							
14	化粧品検定級対策⑥ 復習	化粧品検定2級受験に向けての復習							
15	総合授業	まとめを行う							

			シラバス					
			科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名		ビューティーカウン	ノセラーメイク I			
必修選択 選択 (学則表記) ビューティーカウンセラーメイクⅡ								
		開講			単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティ	7一科	4	60		
使用教材	メイク道具一式、ブ メイクアップテキスト 化粧品検定協会テ	アドヴァンス(デジ	ジタルテキスト)	出版社	ュアサポート 主婦の友社			
	_		科目の基礎情報②		•			
授業のねらい			所を学び、イメージを意識したメ こついてを習得する	イク技術を実践す	する			
到達目標			通じて、人物に合うメイクを施 の悩みを解消できるようになる					
評価基準	テスト30%、検定取	な得20%、提出物	30% 授業意欲20%					
認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上の		者					
関連資格	メイク検定アドヴァン	/ ス						
関連科目	ビューティーカウンヤ	セラーメイク I 、サ	ーロンワーク I -E、サロンワーク	Ⅱ –Е				
備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	実施する。					
担当教員	原辺 綾子			美	務経験	0		
実務内容			ナロンのスクール部門でメイクと 長容部員として勤める。	パーソナルカラー	の講師の経験有。			
				習熟状況	兄等により授業の展開か	変わることがあります		
回数	 単元		各回の展開	 内容				
1 オリエンテーシ		授業の目的目標	票、評価基準、授業ルール	1,74				
	賃店とは・化粧品メー だしなみについて	意識付け/ハンドデモを入れた一連の接客デモンストレーション ※各校判断で企業とタイアップ						
3 製品特徴・アフ	プローチ法	各カテゴリーごと	の製品の役割、種類、特徴、	メリットデメリット、違	選ぶ基準等			
ん 化粧品と法律	(医薬部外品等)、化	ナチュニリコフェ	ルナーギールカラススの告いか	じょみよ即吐をせ	=+_ ++ 7			

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール
	BCの仕事、百貨店とは・化粧品メーカーの組織・身だしなみについて	意識付け/ハンドデモを入れた一連の接客デモンストレーション ※各校判断で企業とタイアップ
3	製品特徴・アプローチ法	各カテゴリーごとの製品の役割、種類、特徴、メリットデメリット、選ぶ基準等
4	化粧品と法律(医薬部外品等)、化 粧品の定義、成分表示	ナチュラルコスメとオーガニックコスメの違いなども含め興味を持たせる
5	 カウンセリングの流れ・ロープレ 	カウンセリングの流れを確認
6	接客について、おもてなしの心、ク レーム、スキンケア	接客する際の注意点、おもてなしとは、クレームの事例対処 肌の仕組みを学ぶ、季節ごとの肌変化
7	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代別の肌悩みを知る メイクアップのアドバイスの仕方を学ぶ
8	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代に合わせたメイクアップの提案
9	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代に合わせたメイクアップの提案
10	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて ①	オンラインで行う際のお客様へ商品のご提案
11	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて ②	商品をPRする方法(写真映え、加工、キャッチコピー)
12	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて ③	商品をPRする方法(写真映え、加工、キャッチコピー)、SNS投稿検証
13	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて ④	オンラインでカウンセリングを行う時に対応方法 カウンセリングの方法
14	総復習	テスト、振り返り
15	総合授業	まとめを行う

				シラバス				
				科目の基礎情報①				
	授業形態	演習	科目名		ブライダルメ	イク [
	必修選択	選択	(学則表記)		ブライダルメイク Ι			
			開講			単位数	時間数	
	年次 ————————————————————————————————————	2年	学科	トータルビューティ	↑一科	2	45 	
	使用教材	メイク道具一式、ヘ	アアレンジ道具-	式、ブライダル雑誌	出版社	-		
授	悪のねらい	ブライダルのシーン 現場を意識した技						
	到達目標	ブライダルメイクの	基礎を理解し実践	でできるようになる				
	評価基準	テスト50%、提出物	勿30%、授業意欲	20%				
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上の		者				
	関連資格							
	関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、	サロンワーク I -E	、サロンワークⅡ-E				
	 備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	実施する。				
	担当教員	林 玲香			実務	务経験	0	
	実務内容	2010年~2011年 ライダルフォト等の		わる美容室にて勤務。2017年 る。	~美容室にて、スク	タイリストとして勤務し、	現在は成人式やブ	
				名口の屋間	習熟状況	等により授業の展開か	変わることがあります	
回数		単元		各回の展開	内容			
1	オリエンテーショ 基本知識	ョン		₹、評価基準、授業ルール ∵ニング、ヘアメイクの仕事、衣	装の種類			
2	ブライダル概論 ジュ作成	・基礎知識・コラー	挙式の種類・挙式と披露宴会場とスタイル・ブライダル用語					
3	洋装①		ブライダルメイク	の基本(ベースメイク)				
4	洋装②		ブライダルメイク	の基本(ポイントメイク)				
5	洋装③		ブライダルメイク	の基本(ドレス別)				
6	洋装④		お色直しの方法	、ヘア概論				
7	洋装⑤		テスト、振り返り					
8	ゲストメイク①		ドレス別へアメイク					
9	ゲストメイク②		お母様 黒留袖	メイク				
10	和装①		基礎知識(歴史、	かつら、専門用語)				
11	和装②		白無垢化粧の網	寝習を入れる				
12	和装③		色打掛・引き振	袖(黒)				
13	和装④		白無垢化粧					
14	和装⑤		白無垢化粧					
15	総合授業		まとめを行う					

				シラバス			
	授業形態	演習	科目名	科目の基礎情報①	ブライダルメ		
	必修選択	選択	(学則表記)		ブライダルメ		
		送扒	開講				時間数
	年次	2年	学科	トータルビューティ	(一科	2	45
		メイク道具一式、ヘ	<u> </u>	- 式、ブライダル雑誌	出版社	-	
				科目の基礎情報②			
持	受業のねらい	ブライダルのシーン 現場を意識した技術		 術を学ぶ			
	到達目標	ブライダルメイクの暑	基礎を理解し実践	でできるようになる			
	評価基準	テスト50%、提出物	730%、授業意欲	220%			
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上の	3分の2以上ある の者	者			
	関連資格						
	関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、	サロンワーク I -E	E、サロンワークⅡ-E			
	備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	実施する。			
	担当教員	林 玲香		実務経験			0
	実務内容	2010年~2011年 ライダルフォト等の>		わる美容室にて勤務。2017年 る。	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	マイリストとして勤務し、	現在は成人式やブ
					習孰状況争	生により授業の展開か	「変わることがあります
				女同小屋門	<u> </u>]1-007]人术*7及[/][/	交 り むここれ ひりむり
回数		<u></u> 単元		各回の展開	内容]1-00月及來9月展開	<u> </u>
		単元ス〜までの流れ	*ドレス補正ポー	各回の展開 イントメイキング&インナーにつ	内容	11-607)	<u> </u>
		ス〜までの流れ			内容 いて(導入、実践)	J-60 /JX.A.V. (A)	<u> </u>
1	白ドレス〜色ドレ	ス〜までの流れ知識	和装→洋装	イントメイキング&インナーにつ	内容 いて(導入、実践)	J-60 7 J-7 J-7 J-7 J-7 J-7 J-7 J-7 J-7 J-7 J	2.17 0 = 2.17 0 5 7 10 7
2	白ドレス〜色ドレお色直しの基本	ス〜までの流れ知識	和装→洋装	イントメイキング&インナーにつ 一連の流れの実習(導入、実	内容 いて(導入、実践)	, 1-00 / JX A / JX [/] [/]	2.17 0 = 2.17 0 5 7 10 7
2	白ドレス〜色ドレお色直しの基本ゲストへアメイク	ス〜までの流れ 知識 D	和装 →洋装・シーンに応じた/	イントメイキング&インナーにつ 一連の流れの実習(導入、実 、アメイク(導入、実践)	内容 いて(導入、実践)		2.17 0 = 2.17 0 5 7 0 5 7
1 2 3 4	白ドレス〜色ドレ お色直しの基本 ゲストへアメイク 着物へアメイク()	ス〜までの流れ 知識 D	和装 →洋装 シーンに応じた/ 着物スタイル	イントメイキング&インナーにつ 一連の流れの実習 (導入、実 、アメイク (導入、実践) 手齢別のメイク 手齢別のメイク	内容 いて(導入、実践)		2.17 0 = 2.17 0 7 10 7
1 2 3 4 5	白ドレス〜色ドレ お色直しの基本 ゲストへアメイク 着物へアメイク()	ス〜までの流れ 知識 D 2 ケ①	和装 →洋装 ・ シーンに応じた /	イントメイキング&インナーにつ 一連の流れの実習 (導入、実 、アメイク (導入、実践) 手齢別のメイク 手齢別のメイク	内容 いて(導入、実践)		2.17 0 = 2.17 0 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
1 2 3 4 5 6	白ドレス〜色ドレ お色直しの基本 ゲストへアメイク 着物へアメイク() 着物へアメイク() 成人式へアメイク()	ス〜までの流れ 知識 D 2 D プ	和装 →洋装 ・ シーンに応じた /	イントメイキング&インナーにつ 一連の流れの実習 (導入、実 、アメイク (導入、実践) 手齢別のメイク 手齢別のメイク ニック 由来・小物・着物	内容 いて(導入、実践)		2.17 0 2 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1
1 2 3 4 5 6 7	白ドレス〜色ドレ お色直しの基本 ゲストへアメイク 着物へアメイク(3 成人式へアメイク(3 七五三へアメイク)	ス〜までの流れ 知識 D 2 D プ	和装 →洋装 ・シーンに応じた ・ 着物スタイル 理論・着物別・4 理論・着物別・4 セエ三の歴史・	イントメイキング&インナーにつ 一連の流れの実習 (導入、実 、アメイク (導入、実践) 手齢別のメイク 手齢別のメイク ニック 由来・小物・着物	内容 いて(導入、実践)		2.17 0 = 2.17 0) 7 0 7
1 2 3 4 5 6 7 8	白ドレス〜色ドレ お色直しの基本 ゲストへアメイク 着物へアメイク(3 着物へアメイク(3 成人式へアメイク(3 七五三へアメイク(3 パーティーへアン	ス〜までの流れ 知識 D 2 D プ	和装 →洋装 ・ シーンに応じた / 着物スタイル 理論・着物別・	イントメイキング&インナーにつ 一連の流れの実習 (導入、実 トアメイク (導入、実践) 手齢別のメイク 手齢別のメイク ニック 由来・小物・着物	内容 いて(導入、実践)		2.17 0 2 2 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2
1 2 3 4 5 6 7 8 9	白ドレス〜色ドレ お色直しの基本 ゲストへアメイク 着物へアメイク(3 成人式へアメイク(3 成人式へアメイク(3 パーティーへアン テスト	ス〜までの流れ 知識 D 2 D プ	和装 →洋装 ・ シーンに応じた/ 着物スタイル 理論・着物別・4 基本知識とテク・ 七五三の歴史・ シーンに応じた/ テスト、振り返り	イントメイキング&インナーにつ 一連の流れの実習 (導入、集 、アメイク (導入、実践) 手齢別のメイク 手齢別のメイク ニック 由来・小物・着物 、アメイク	内容 いて(導入、実践)		2.17 0 2 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	白ドレス〜色ドレ お色直しの基本 ゲストへアメイク 着物へアメイク() 着物へアメイク() 成人式へアメイク() パーティーへアン テスト 卒業制作()	ス〜までの流れ 知識 D 2 D プ	和装 →洋装 ・ シーンに応じた /	イントメイキング&インナーにつ 一連の流れの実習 (導入、実 、アメイク (導入、実践) 下齢別のメイク 下齢別のメイク ニック 由来・小物・着物 、アメイク 、実践)	内容 いて(導入、実践)		2.17 0 2 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	白ドレス〜色ドレ お色直しの基本 ゲストへアメイク 着物へアメイク() 着物へアメイク() 成人式へアメイク() ペーティーへアン テスト 卒業制作() 卒業制作()	ス〜までの流れ 知識 D 2 D プ	和装 →洋装 ・ シーンに応じた /	イントメイキング&インナーにつ 一連の流れの実習 (導入、実 、アメイク (導入、実践) 下齢別のメイク 下齢別のメイク ニック 由来・小物・着物 、アメイク 、実践)	内容 いて(導入、実践)		
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	白ドレス〜色ドレ お色直しの基本 ゲストへアメイク 着物へアメイク() 着物へアメイク() 成人式へアメイク() セ五三へアメイク() パーティーへアン テスト 卒業制作() 卒業制作(2) 卒業制作(3)	ス〜までの流れ 知識 D 2 D プ	和装 →洋装 ・ シーンに応じた /	イントメイキング&インナーにつ 一連の流れの実習 (導入、実 トアメイク (導入、実践) 手齢別のメイク 三かり 由来・小物・着物 トアメイク 、実践)	内容 いて(導入、実践)		

				シラバス				
		演習	科目名	科目の基礎情報①	 特殊メイク	' I		
	必修選択	選択	(学則表記)		特殊メイク			
		,.	開講			単位数	時間数	
	年次	2年	学科	トータルビューティ	′一科	2	45	
	使用教材	メイク道具一式・エラ 特殊用品等	アブラシ道具・ボー	ディージュエリー道具、その他	出版社			
				科目の基礎情報②				
授	授業のねらいボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする							
	到達目標 特殊メイクを通じて、メイクの知識を深める メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる							
	評価基準	テスト50%、提出物	730%、授業意欲	τ20%				
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上の	3分の2以上あるの者	者				
	関連資格							
	関連科目	ヘアアレンジ Ⅱ Ⅲ、	サロンワーク I -E	E、サロンワークⅡ-E				
	備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	実施する。				
	担当教員	高橋 暖子		実務経験		0		
	実務内容	2010年~美容室で	での勤務経験有。	ヘアメイクアップアーティストと	してブライダルメイク	やテレビ等でのヘアン	メイクを担当。	
				各回の展開	習熟状況等	ことり授業の展開か	で変わることがあります	
回数		単元			内容			
1	オリエンテーショ	ン		票、評価基準、授業ルール、教	材確認(名称、使い	方、管理(セッティン	グ)方法)	
	老人メイク①		老人メイク導入					
2	老人メイク① 老人メイク②		老メイク導入老婆のメイクを引	ミ践する				
2	老人メイク①							
3	老人メイク① 老人メイク②		老婆のメイクを身					
3 4	老人メイク① 老人メイク② 老人メイク③		老婆のメイクを身	長践する				
3 4	老人メイク① 老人メイク② 老人メイク③ 舞台メイク①		老婆のメイクを写 老父のメイクを写	実践する クを実践する				
3 4 5	老人メイク① 老人メイク② 老人メイク③ 舞台メイク① 舞台メイク②		老婆のメイクを見 老父のメイクを見 舞台メイク導入 舞台の女役メイ	実践する クを実践する				
3 4 5 6	老人メイク① 老人メイク② 老人メイク③ 舞台メイク① 舞台メイク② 舞台メイク②		老婆のメイクを引 老父のメイクを引 舞台メイク導入 舞台の女役メイ・ 舞台の男役メイ・	長践する クを実践する クを実践する				
3 4 5 6	老人メイク① 老人メイク② 老人メイク③ 舞台メイク① 舞台メイク② 舞台メイク③ 舞台メイク④	ク①	老婆のメイクを見 老父のメイクを見 舞台メイク導入 舞台の女役メイ・ 舞台の男役メイ・ デスト ボディアート等の	長践する クを実践する クを実践する				
3 4 5 6 7 8	老人メイク① 老人メイク② 老人メイク③ 舞台メイク① 舞台メイク② 舞台メイク④ ボディアート		老婆のメイクを引 老父のメイクを引 舞台メイク導入 舞台の女役メイ・ 舞台の男役メイ・ テスト ボディアート等の テーマに合わせ	実践する クを実践する クを実践する の実践				
3 4 5 6 7 8 9	老人メイク① 老人メイク② 老人メイク③ 舞台メイク① 舞台メイク② 舞台メイク④ ボディアート キャラクターメイ	ク ②	老婆のメイクを引 老父のメイクを引 舞台メイク導入 舞台の女役メイ・ 舞台の男役メイ・ テスト ボディアート等の テーマに合わせ テーマに合わせ テーマに合わせ	にはする クを実践する クを実践する シ実践 たメイクを実践する たメイクを実践する たメイクを実践する				
3 4 5 6 7 8 9 10	老人メイク① 老人メイク② 老人メイク③ 舞台メイク① 舞台メイク② 舞台メイク④ ボディアート キャラクターメイ・	ク②	老婆のメイクを引 老父のメイクを引 舞台メイク導入 舞台の女役メイ・ 舞台の男役メイ・ テスト ボディアート等の テーマに合わせ テーマに合わせ テーマに合わせ	にはする クを実践する クを実践する の実践 たメイクを実践する たメイクを実践する				
3 4 5 6 7 8 9 10 11	老人メイク① 老人メイク② 老人メイク③ 舞台メイク① 舞台メイク② 舞台メイク④ ボディアート キャラクターメイ・ キャラクターメイ・	ク②	老婆のメイクを引 老父のメイクを引 舞台メイク導入 舞台の女役メイ・ 舞台の男役メイ・ テスト ボディアート等の テーマに合わせ テーマに合わせ テーマに合わせ テーマに合わせ テーマに合わせ	にはする クを実践する クを実践する シ実践 たメイクを実践する たメイクを実践する たメイクを実践する				
3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	老人メイク① 老人メイク② 老人メイク③ 舞台メイク① 舞台メイク② 舞台メイク④ ボディアート キャラクターメイ・ キャラクターメイ・ キャラクターメイ・	ク②	老婆のメイクを引き 老父のメイクを引き # 台	にはする クを実践する クを実践する クを実践する たメイクを実践する たメイクを実践する たメイクを実践する たメイクを実践する たメイクを実践する				

				シラバス						
	授業形態	演習	科目名	科目の基礎情報①	特殊メイク	, Π				
	· 必修選択	選択	(学則表記)							
	必修選択	送扒	開講		1474/217	/ II 単位数	時間数			
	年 次	2年	学科	トータルビューティ	/一科	2	45			
	使用教材	メイク道具一式・エスト	L アブラシ道具・ボ -	ディージュエリー道具、その他	出版社					
		143水川田子		科目の基礎情報②						
持	受業のねらい	ボディアート、傷メイ	クなど特化したシ	一ンで活用できる特殊メイク技	術を学び実践でき	るようにする				
	到達目標 特殊メイクを通じて、メイクの知識を深める メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる									
	評価基準	テスト50%、提出物	730%、授業意欲	τ20%						
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上の		者						
	関連資格									
	関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、	サロンワーク I -E	E、サロンワークⅡ-E						
	備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	実施する。						
	担当教員	高橋 暖子		実務経験			0			
	実務内容	2010年~美容室で	での勤務経験有。	ヘアメイクアップアーティストと	してブライダルメイク	やテレビ等でのヘアン	メイクを担当。			
				各回の展開	習熟状況等	等により授業の展開か	で変わることがあります			
回数		単元		日四少灰川	内容					
1	アニマルメイク①)	テーマに基づい	たメイクの導入・実践						
2	_	,			デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践					
	アニマルメイク②									
3	アニマルメイク② アニマルメイク③)	デッサンシートの デッサンシートの	基づいたメイクの実践						
3 4			デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの	を基づいたメイクの実践 作成	J)					
	アニマルメイク③		デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの	基づいたメイクの実践 作成 基づいたメイクの実践	J)					
4	アニマルメイク③ アニマルメイク④))))	デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの テーマに基づい デッサンシートの	基づいたメイクの実践 が作成 基づいたメイクの実践 基づいたメイク(テスト、振り返り たメイクの導入・実践	J)					
4 5	アニマルメイク③ アニマルメイク④ 日本の伝統メイク)))) ク① ケ②	デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの テーマに基づい デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの	基づいたメイクの実践 作成 基づいたメイクの実践 基づいたメイク(テスト、振り返り たメイクの導入・実践 作成 基づいたメイクの実践	J)					
4 5 6	アニマルメイク③ アニマルメイク④ 日本の伝統メイク 日本の伝統メイク)))))))))))))))))))	デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの テーマに基づい デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの	基づいたメイクの実践 作成 基づいたメイクの実践 基づいたメイク(テスト、振り返り たメイクの導入・実践 作成 基づいたメイクの実践 作成 基づいたメイクの実践 たメイクの実践 たメイクの導入・実践	J)					
4 5 6 7	アニマルメイク③ アニマルメイク④ 日本の伝統メイク 日本の伝統メイク 日本の伝統メイク	70 70 72 73	デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの テーマに基づい デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの	基づいたメイクの実践 作成 基づいたメイクの実践 を 基づいたメイク(テスト、振り返り たメイクの導入・実践 を 作成 を 基づいたメイクの実践 作成 を 基づいたメイクの実践 たメイクの導入・実践 たメイクの実践 たメイクの導入・実践	J)					
4 5 6 7 8	アニマルメイク③ アニマルメイク④ 日本の伝統メイク 日本の伝統メイク 日本の伝統メイク ボディーペイント	7) 7) 7) 72 73 1)	デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの	基づいたメイクの実践 作成 基づいたメイクの実践 を 基づいたメイク(テスト、振り返り たメイクの導入・実践 を 作成 を 基づいたメイクの実践 作成 を 基づいたメイクの実践 たメイクの導入・実践 たメイクの実践 たメイクの導入・実践	J)					
4 5 6 7 8	アニマルメイク③ アニマルメイク④ 日本の伝統メイク 日本の伝統メイク 日本の伝統メイク ボディーペイント(ボディーペイント(7) 7) 7) 72 73 1)	デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの	基づいたメイクの実践 が作成 基づいたメイクの実践 基づいたメイク(テスト、振り返り たメイクの導入・実践 作成 基づいたメイクの実践 作成 基づいたメイクの実践 たメイクの導入・実践 たメイクの導入・実践 作成 基づいたメイクの実践 たメイクの実践 たメイクの実践	J)					
4 5 6 7 8 9	アニマルメイク③ アニマルメイク④ 日本の伝統メイク 日本の伝統メイク 日本の伝統メイク ボディーペイント(ボディーペイント)	7) 7) 7) 72 73 1)	デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの	基づいたメイクの実践 作成 基づいたメイクの実践 基づいたメイク(テスト、振り返り たメイクの導入・実践 作成 基づいたメイクの実践 作成 基づいたメイクの実践 たメイクの導入・実践 作成 基づいたメイクの実践 たメイクの導入・実践 作成 基づいたメイクの実践 たメイクの実践 たメイクの実践 たメイクの実践 たメイクの実践 、実践)	J)					
4 5 6 7 8 9 10	アニマルメイク③ アニマルメイク④ 日本の伝統メイク 日本の伝統メイク 日本の伝統メイク ボディーペイント ボディーペイント で業制作①	7) 7) 7) 72 73 1)	デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの デッサンシートの	基づいたメイクの実践 作成 基づいたメイクの実践 をメイクの導入・実践 たメイクの導入・実践 作成 基づいたメイクの実践 を が成 を があるが、 を がながられたが があるが があるが があるが があるが があるが があるが があるが があ	J)					
4 5 6 7 8 9 10 11	アニマルメイク③ アニマルメイク④ 日本の伝統メイク 日本の伝統メイク 日本の伝統メイク ボディーペイント ボディーペイント ベディーペイント 卒業制作① 卒業制作②	7) 7) 7) 72 73 1)	デッサンシートの デッサンシートの	基づいたメイクの実践 作成 基づいたメイクの実践 基づいたメイク(テスト、振り返り たメイクの導入・実践 作成 基づいたメイクの実践 を が成め、基づいたメイクの実践 たメイクの導入・実践 作成 基づいたメイクの実践 たメイクの導入・実践 作成 基づいたメイクの実践 を なまずいたメイクの実践 を ないたメイクの実践	J)					

				シラバス					
	1·2 · 기· 파 · 스타	74 222	NDA	科目の基礎情報①	I	1.75 T			
	授業形態	演習	科目名		アーティスト				
	必修選択 ———————	選択	(学則表記)		アーティスト		D+ 日日 */-		
		2年	開講 学科	単位数 上ータルビューティー科 2			時間数 		
		メイク道具一式	- f- f -1	- J/VCI			40		
	使用教材 	メイクアップテキスト	アドヴァンス(デジ	タルテキスト) 科目の基礎情報②	出版社	ユアサポート			
	授業のねらい ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする								
	トレンボ・年代別・シュー・メイク・スチール撮影(フォトコン・テスト)に必要かメイク技術と知識を身に付ける								
	到達目標様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける								
	評価基準	テスト50%、提出物							
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上の		者					
	関連資格								
	関連科目	フォト&ファッション	 I II、特殊メイク	ΙΠ					
		原則、この科目は対	おおおまままま						
				- 天旭 9 0。	_	The ATTEN			
	担当教員	高橋 暖子		実務経験 		0			
	実務内容	2010年~美容室で	での勤務経験有。	ヘアメイクアップアーティストと	してブライダルメイ	クやテレビ等でのヘアメ	イクを担当。		
				各回の展開	習熟状況	?等により授業の展開か	変わることがあります		
回数	オリエンテーショ	単元 、 <i>、</i>		票、評価基準、授業ルール、教	内容				
1	ベースメイク①		ベースメイク導力	人、実践	(47)推武				
2	ベースメイク② ポイントメイク		ベースメイク復習 ポイントメイク実証						
3	ショーメイク①		立体感や骨格を	ととらえたメイク(導入、実践)					
4	ショーメイク②		Wラインの使った	ニメイク(導入、実践)					
5	ショーメイク③		グリッター・メイク	/用品のデコレーション素材の例	吏い方(導入、実践				
6	ショーメイク④		色の発色、グラ ・	デーションの見せ方(導入、実)	浅)				
7	ショーメイク⑤		テーマに沿った、	、フルメイク(テスト、振り返り)					
8	スチールメイク①)	フォトコンで行うメイク制作(導入、実践) テーマに合わせて行う						
9	スチールメイク②	2)	フォトコンで行う テーマに合わせ	メイク制作(実践) て行う					
10	スチールメイク③	3)	フォトコンで行う; テーマに合わせ	メイク制作(テスト) て行う					
11	スチールメイク④)	テーマに合わせ 作品の振り返り	た作品制作					
12	トレンドメイク①		トレンド、コレクシ テーマに合わせ	ョン等のメイクアップを学ぶ(導 て行う	入、実践)				
13	トレンドメイク②		トレンド、コレクシ: テーマに合わせ	ョン等のメイクアップを学ぶ(実 て行う	践)				
14	トレンドメイク③		トレンド、コレクシ テーマに合わせ	ョン等のメイクアップを学ぶ(実 て行う	践)				
15	総合授業		まとめを行う						

	シラバス										
	授業形態	演習	科目名	科目の基礎情報①	アーティスト	メンカΠ					
	必修選択	選択	(学則表記)		アーティスト						
		医1八	開講		7 71/1	単位数	—————————————————————————————————————				
	年次	2年	学科	トータルビューティー科 2 45			45				
	使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキスト	アドヴァンス(デジ	シャルテキスト)	出版社	ユアサポート					
		7-177 J2 7 4 XI		科目の基礎情報②							
括	受業のねらい	ショーや撮影などで	施すメイク技術を	身につけ、現場において実践	できるようにする						
	到達目標										
	評価基準	テスト50%、提出物	730%、授業意欲	220%							
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上の	3分の2以上ある: D者	者							
	関連資格										
	関連科目	フォト&ファッション	ⅠⅡ、特殊メイク	ΙΠ							
	備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	実施する。							
	担当教員	高橋 暖子		実務経験		務経験	0				
	実務内容	2010年〜美容室で	の勤務経験有。	ヘアメイクアップアーティストと	してブライダルメイ	クやテレビ等でのヘアン	イクを担当。				
				各回の展開	習熟状況	と等により授業の展開か	で変わることがあります				
回数		単元			内容						
1	メイクの歴史		古代~中世~近 (時代背景や特征)	£代のメイクについて 数について)							
2	年代別のメイク(D	年代別 20、30、40								
3	年代別のメイクの	2)	年代別 50								
4	年代別のメイク	3)	年代別 60								
5	年代別のメイク@	D	年代別 70、80								
6	年代別のメイク®	5)	年代別 90、20								
7	年代別のメイクの			年代別の技術まとめ フルメイクテスト、振り返り							
8	卒業制作①		卒業制作(導入、	、実践)							
9	卒業制作②		卒業制作(実践))							
10	卒業制作③		卒業制作(実践)								
11	卒業制作④		卒業制作(実践)								
12	卒業制作⑤		卒業制作(実践))							
13	卒業制作⑥		卒業制作(実践))							
14	卒業制作⑦		卒業制作(実践、	、振り返り)							

				シラバス					
				科目の基礎情報①		-			
	授業形態	講義	科目名		フォト&ファッ	<i>,</i> ション [
	必修選択	選択	(学則表記)		フォト&ファッ	ノション Ι			
		ı	開講			単位数	時間数		
	年次 ———————	2年	学科	トータルビューティ	イ一科 	1	15		
	使用教材	【フォト】カメラ機材 【ファッション】スマオ (VOGUE/MODE ET 共通→筆記用具・	MODE 等)		出版社	-			
	科目の基礎情報② 【フォト】写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によっての注意点等を理解し、実践力を身につける								
抒	授業のねらい 【ファッション】ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める								
	【フォト】 色・光・影の出方によるメイク映えを知る/撮影中の注意事項を理解する 【ファッション】 トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る								
	評価基準	テスト50%、提出物	130%、授業意欲	7 20%					
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上の		 者					
	関連資格								
	関連科目	アーティストメイク I	Ⅱ、特殊メイクⅠ	П					
	備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	(実施する。					
	担当教員	藤平 博隆	実務経験			務経験	0		
	実務内容	1987年より株式会	社スタジオアイに	て撮影業務カメラマンとして従	事 以後撮影とス	タッフ撮影指導を行い	現在に至る。		
					習孰状況	等により授業の展開か	「変わることがあります		
				タロの見明	D W()// //		× 12 0 - 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		
回数		単元		各回の展開	内容		X 12 4 - C.N 63 761 7		
回数 1	オリエンテーショ 光と影について			各回の展開 票、評価基準、授業ルール 、使い方、管理(セッティング)	内容		Z 17 0 - E17 0 7 7 0 7 0 7 0 7 0 7 0 7 0 7 0 7 0 7		
	オリエンテーショ	ν	教材確認(名称.	票、評価基準、授業ルール	内容		2,70-2,100,701,701		
2	オリエンテーショ 光と影について	・レイアウト	教材確認(名称. レイアウトやモデ. オート(プログラ/	票、評価基準、授業ルール 、使い方、管理(セッティング))	内容		Z.17 0 - C.10 33 7 5 1 7		
2	オリエンテーショ 光と影について 写真のバランス・	ン ・レイアウト iい方	教材確認(名称. レイアウトやモデ, オート(プログラム カメラの構え方* オート(プログラム	票、評価基準、授業ルール 、使い方、管理(セッティング)フ ルのポージングについて ムオート)で自由に撮影	内容		2,70-2,70,70,70		
1 2 3 4	オリエンテーショ 光と影について 写真のバランス 撮影光と影の使	ン ・レイアウト iい方	教材確認(名称. レイアウトやモデ オート(プログラム カメラの構え方々 オート(プログラム 露出補正を使い 撮影のフィードバ	票、評価基準、授業ルール、使い方、管理(セッティング)プルのポージングについて	内容 方法) 感の変化		2170-2170377017		
1 2 3 4 5	オリエンテーショ 光と影について 写真のバランス 撮影光と影の使 撮影光と影の使	ン ・レイアウト iい方	教材確認(名称. レイアウトやモデ オート(プログラム カメラの構え方々 オート(プログラム 露出補正を使い 撮影のフィードバ	票、評価基準、授業ルール、使い方、管理(セッティング)でのポージングについて なオート)で自由に撮影やレンズの使い方を知るなオート)で自由に撮影っながら意図する明るさで撮るペックとレンズワークによる遠近-クによる背景のボケ方の説明	内容 方法) 感の変化				
1 2 3 4 5 6	オリエンテーショ 光と影について 写真のバランス・ 撮影光と影の使 撮影光と影の使 カメラの使い方	ン ・レイアウト iい方	教材確認(名称. レイアウトやモデ オート(プログラム カメラの構え方々 オート(プログラム 露出補正を使い 撮影のフィード// 絞りやレンズワー	票、評価基準、授業ルール、使い方、管理(セッティング)でのポージングについて コオート)で自由に撮影やレンズの使い方を知るコオート)で自由に撮影っながら意図する明るさで撮るボックとレンズワークによる遠近でによる背景のボケ方の説明った撮影練習	内容 方法) 感の変化				
1 2 3 4 5 6 7	オリエンテーショ 光と影について 写真のバランス・ 撮影光と影の使 撮影光と影の使 カメラの使い方 レフの使い方	ン ・レイアウト iい方	教材確認(名称. レイアウトやモデ. オート(プログラムカメラの構え方とオート(プログラム 露出補正を使い 撮影のフィードが 絞りやレンズワー 室内でレフを使・ テーマに合わせ	票、評価基準、授業ルール、使い方、管理(セッティング)でのポージングについて コオート)で自由に撮影やレンズの使い方を知るコオート)で自由に撮影っながら意図する明るさで撮るペックとレンズワークによる遠近でによる背景のボケ方の説明った撮影練習	内容 方法) 感の変化				
1 2 3 4 5 6 7 8	オリエンテーショ 光と影について 写真のバランス 撮影光と影の使 撮影光と影の使 カメラの使い方 レフの使い方 作品作り①	ン ・レイアウト iい方	教材確認(名称. レイアウトやモデオート(プログラムカメラの構え方々オート(プログラム露出補正を使い撮影のフィズワー室内でレフを使っていたり、でしていたりをしていまりといっては、リングでは、アーマによりといっては、リングでは、アーマによりといっては、アーマによりといっては、アーマによりといっては、アーマによりといっては、アーマによりといっては、アーマによりといっては、アーマによりというでは、アーマによりというでは、アーマによりというでは、アーマによりによりでは、アーマによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに	票、評価基準、授業ルール、使い方、管理(セッティング)でのポージングについて コオート)で自由に撮影やレンズの使い方を知るコオート)で自由に撮影っながら意図する明るさで撮るペックとレンズワークによる遠近でによる背景のボケ方の説明った撮影練習	内容 方法) 感の変化				
1 2 3 4 5 6 7 8 9	オリエンテーショ 光と影について 写真のバランス 撮影光と影の使 撮影光と影の使 カメラの使い方 レフの使い方 作品作り① 作品作り②	ン ・レイアウト iい方	教材確認(名称. レイアウトやモデオート(プログラノカメラの構え方と オート(プログラノ 露出補正を使い 撮影のフィズワー 室内でレフを使っているの振りやレンズワー でしてもの振りもしまり テーマに合わせ 作品の振りもしまり テーマに合揚り では、合わせ では、合わせ では、自撮り	票、評価基準、授業ルール、使い方、管理(セッティング)でいて、	内容 方法) 感の変化				
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	オリエンテーショ 光と影について 写真のバランス・ 撮影光と影の使 撮影光と影の使 カメラの使い方 レフの使い方 作品作り① 作品作り② スチール①	ン ・レイアウト iい方	教材確認(名称. レイアウトやモデオート(プログラノカメラの) プログラノカメラの プロを使い 撮影のフンン を 中作 アームの 振い合わ返 わり サームの でにはし 合わ返 わり サーム ではした アーボーマにはした かり せり サーダー ではした かり サーダー できます かり サーダー では かり サーダー できます かり カージャー かり かり かり かり かり かり かり サーダー できます かり サーダー かり サーダー かり サーダー かり	原、評価基準、授業ルール、使い方、管理(セッティング)で ルのポージングについて スオート)で自由に撮影やレンズの使い方を知る スオート)で自由に撮影いながら意図する明るさで撮る バックとレンズワークによる遠近・クによる背景のボケ方の説明った撮影練習 た作品制作	内容 方法) 感の変化 グやライティング等 グやライティング等	<u>:</u>			
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	オリエンテーショ 光と影について 写真のバランス・ 撮影光と影の使 撮影光と影の使 カメラの使い方 レフの使い方 作品作り① 作品作り② スチール①	ン ・レイアウト iい方	教材確認(名称. レイアウトやモデーター オート(プの構 ブライト) オート(プの構 ブライト) 大一人でのでしている。 でいている。 大一人ででしている。 一品では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	原、評価基準、授業ルール、使い方、管理(セッティング)で ルのポージングについて ユオート)で自由に撮影 やレンズの使い方を知る ユオート)で自由に撮影 ながら意図する明るさで撮る ボックとレンズワークによる遠近 一クによる背景のボケ方の説明 った撮影練習 た作品制作 た作品制作 た作品制作に向けてポージン た作品制作に向けてポージン	内容 方法) 感の変化 グやライティング等 グやライティング等	<u>:</u>			
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	オリエンテーショ 光と影について 写真のバランス・ 撮影光と影の使 撮影光と影の使 カメラの使い方 レフの使い方 作品作り① 作品作り② スチール① スチール② スチール③	ン ・レイアウト iい方	教材確認(名称. レイアウトやモデーター オート(プの構 ブライト) オート(プの構 ブライト) 大一人でのでしている。 でいている。 大一人ででしている。 一品では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	要、評価基準、授業ルール、使い方、管理(セッティング)で ルのポージングについて ムオート)で自由に撮影やレンズの使い方を知る ムオート)で自由に撮影いながら意図する明るさで撮る バックとレンズワークによる遠近りによる背景のボケ方の説明った撮影練習 た作品制作 た作品制作に向けてポージン た作品制作に向けてポージン	内容 方法) 感の変化 グやライティング等 グやライティング等	<u>:</u>			
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	オリエンテーショ 光と影について 写真のバランス 撮影光と影の使 撮影光と影の使 カメラの使い方 レフの使い方 作品作り① 作品作り② スチール① スチール② スチール③ テスト	ン ・レイアウト iい方	教材確認(名称・データを対して、大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	要、評価基準、授業ルール、使い方、管理(セッティング)でしていているオート)で自由に撮影やレンズの使い方を知るいったがら意図する明るさで撮るがいうとレンズワークによる遠近つによる背景のボケ方の説明った撮影練習た作品制作た作品制作に向けてポージンた作品制作に向けてポージンた作品制作に向けてポージンた作品制作に向けてポージンた作品制作に向けてポージンた作品制作に向けてポージンた作品制作に向けてポージンた作品制作に向けてポージン	内容 方法) 感の変化 グやライティング等 グやライティング等	<u>:</u>			

				シラバス						
		T		科目の基礎情報①						
	授業形態	講義	科目名		フォト&ファッ	ション Ⅱ 				
	必修選択	選択	(学則表記)		フォト&ファッ	ション 🏻				
		T	開講			単位数	時間数			
	年次	2年	学科	トータルビューティ	(一科	1	15			
	使用教材	【フォト】カメラ機材 【ファッション】スマホ (VOGUE/MODE ET 共通──筆記用具・	MODE 等)		出版社	-				
12	科目の基礎情報② 「フォト】写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によっての注意点等を理解し、実践力を身につける									
12	【ファッション】ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める 【フォト】 到達目標 ・光・影の出方によるメイク映えを知る/撮影中の注意事項を理解する 【ファッション】 トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る									
	評価基準	テスト50%、提出物	130%、授業意欲	¢20%						
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上の		者						
	関連資格									
	関連科目	アーティストメイク I	Ⅱ、特殊メイクⅡ	П						
	備考	原則、この科目は対	面授業形式にで	実施する。						
	担当教員	原辺 綾子			実務	络経験	0			
	実務内容			ナロンのスクール部門でメイクと 長容部員として勤める。	パーソナルカラーの	講師の経験有。				
					習熟状況	等により授業の展開が	変わることがあります			
回数				各回の展開	内容					
1	オリエンテーショ メイクとの関連に		授業の目的目標メイクとファッショ	票、評価基準、授業ルール、教 ヨンの繋がり	材確認					
2	服の歴史につい	て①	服の成り立ち(古	「代~中世)						
3	服の歴史につい	て②	服の成り立ち(中	1世~近代)						
4	コレクションについ	いて①	コレクション開催 コレクションの歴							
5	コレクションについ	<u></u> ,ハて②	コレクションブラン	ンドについて(シーズンサイクル	 など)					
6	コレクションについ	ハて③	オートクチュール							
7	コレクションについ	ハて④	プレタポルテ(レ	ディース・メンズ)						
8	コレクションについ	<u> </u>	コレクションの歴	史と開催都市等のまとめテスト						
9	トレンドについて(D	雑誌、SNSの見:	方と情報収集						
10	トレンドについて	2	トレンド研究を行	う						
11	ファッションデザー	イナ ー ①	雑誌・SNSを使い	ヽデザイナーのトレンドを調べる						
12	テスト		テスト							
13	コンセプトシート作	乍成	発表されたコレク	フションを模写もしくはアレンジし	ノ、デザイン画(コン・	セプトシートの作成)				
14	コンセプトシート作	作成 ————————————————————————————————————	発表されたコレク	ウションを模写もしくはアレンジし	ノ、デザイン画(コン・	セプトシートの作成)				
15	総合授業		まとめを行う							

科目の基礎情報① 授業形態 実技 科目名 サロンワーク I -D 必修選択 選択必修 (学則表記) サロンワーク I ーD 開講 単位数 時間数 年次 2年 学科 トータルビューティー科 2 60 日本エステティック協会 新エステティック学 理論編Ⅲ・フェイシャル・ボディ化粧品 使用教材 出版社 AEAテキスト(サロンマネジメント) 日本エステティック業協会 ①マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営方法を習得する。 授業のねらい ②「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。 ①現場実践を積み、接客力を身に付けるとともに症例数をこなすことでコンサルテーション力を身に付ける。 ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。 到達目標 ①実技試験60%/授業態度・提出物など20% ②レポート20% 評価基準 ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 担当教員 金永 真利那 実務経験 実務内容

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

		各回の展開
回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	サロンマネジメントについて サロンワークの目的・運営方法について
'	美容総合授業	目標立て・ショーのテーマ決め・各セクション、モデル決定 スケジュール立て・デッサンシート作成
2	サロン立ち上げ企画	接客マナーについて サロン作り・メニュー考案(ディスカッション等)、広報ツール作成
	美容総合授業	構成シート作成・ドレス決定・演出決め・BGMシート作成・デッサンシート完成
3	サロン立ち上げ企画	サロンオープン準備
	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習
4	サロン立ち上げ企画	サロンオープン準備
<u>'</u>	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習
5	サロン衛生管理	衛生学 消毒の実践
	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習
6	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	モデルウォーキング・各セクション、動きの確認
7	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	ショー通しリハーサル
8	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	ショー通しリハーサル
9	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
10	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
11	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
12	リハーサル	ボディ・フェイシャル
13	プレオープン	ボディ・フェイシャル ※プレオープンのため無料施術
14	振返り	フィードバックからの学び
15	総合授業	総まとめを行う

				シラバス			
				科目の基礎情報①			
	授業形態	実技	科目名		サロンワー・	クⅡ-D	
	必修選択	選択必修	(学則表記)		サロンワー	クⅡ —D	
			開講			単位数	時間数
	年次	2年	学科	トータルビューティ	(一科	2	60
		新エステティック学 AEAテキスト(サロン		イシャル・ボディ化粧品	出版社	日本エステティック協 日本エステティック業	
授	受業のねらい	マーケティング・サロ	コンマネジメント・雇	・	運営方法を習得る	<u></u> する。	
	到達目標	現場実践を積み、批	要客力を身に付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ナるとともに症例数をこなすこと	 でコンサルテーシ		
	評価基準	実技試験60%/授	業態度·提出物 <i>t</i>	など20%			
	認定条件	・出席が総時間数の ・成績評価が2以上)3分の2以上ある .の者	5者			
	関連資格						
	関連科目						
	備考	原則、この科目は対	 	C実施する。 			ı
	担当教員	金永 真利那	実務			務経験	
	実務内容						
<u> </u>					習熟状汤	兄等により授業の展開カ	で変わることがあります
				各回の展開			
回数	È	単元			内容		
1	オリエンテーション	ン 	オリエンテーショ	ョン・前期の復習・サロンワーク	集備 — <u>————</u>		
2					_		
3		l					
4							
5							
6		1					
7	サロンワーク	l	サロン実習				
8	9027-9			タイミングを設けながら接客力に	句上のための取り約	組みを実施する	

総まとめ授業を行う

15 総合授業

				シラバス			
		T		科目の基礎情報①			
	授業形態	実技	科目名		サロンワーク	′ I −E	
	必修選択	選択必修	(学則表記)		サロンワーク	′ I —E	
			開講			単位数	時間数
	年次	2年	学科	トータルビューティ	(一科	2	60
	使用教材	必要に応じたヘアメ	イク道具一式、筆	E 記用具類	出版社	_	
		I		科目の基礎情報②			
挡	受業のねらい	マーケティング、サロ	コンマネジメント、雇	顧客管理について学びサロン類	里営を行う		
	到達目標	現場実践を積み、打コミュニケーションナ		†3			
	評価基準	レポート(テスト対応	の場合有)50%、	提出物30%、授業意欲20%			
	認定条件	出席が総時間数の 成績評価が2以上の	3分の2以上ある ⁵ D者	 者			
	関連資格						
	関連科目	ビューティーカウンイ	セラーメイク [[
	備考	原則、この科目は対	 対面授業形式にて	 「実施する。			
	担当教員	広瀬 あみ			実	 務経験	
	実務内容						
				<i>k</i> 5 5 5 6	習熟状況	等により授業の展開か	で変わることがあります
- 14/				谷川(1)展開			
回数		 単元		各回の展開	内容		
<u>回数</u> 1	サロンワーク導入			各回の展開	内容		
				各回の展開	内容		
1	サロンワーク導入			各回の展開	内容		
2	サロンワーク導入1年次復習	 新練習		各回の展開	内容		
2 3	サロンワーク導入 1年次復習 サロンワーク技術	万練習		各回の展開	内容		
1 2 3 4	サロンワーク導入 1年次復習 サロンワーク技術 サロンワーク技術	· · · · · · · · · ·		各回の展開	内容		
1 2 3 4 5	サロンワーク導入 1年次復習 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術	所練習 所練習 所練習	·施術時間·用具	エーションや施術内容を設定 『の管理・接客対応・言葉遣』	し、サロンワークとし いイレギュラーな対	応方法などを学ぶ	
1 2 3 4 5 6	サロンワーク導入 1年次復習 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術	所練習 所練習 所練習 所練習	・施術時間・用具・施術内容だけで	ユニーションや施術内容を設定	し、サロンワークとし いイレギュラーな対 イヤー作成など運	·応方法などを学ぶ 営に関わる様々な分野	
1 2 3 4 5 6 7	サロンワーク導入 1年次復習 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術	所練習 所練習 所練習 所練習	・施術時間・用具・施術内容だけで	エーションや施術内容を設定 『の管理・接客対応・言葉遣し でなく、集客方法の工夫やフラ	し、サロンワークとし いイレギュラーな対 イヤー作成など運	·応方法などを学ぶ 営に関わる様々な分野	
1 2 3 4 5 6 7 8	サロンワーク導入 1年次復習 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術	所練習 所練習 所練習 所練習 所練習	・施術時間・用具・施術内容だけで	エーションや施術内容を設定 『の管理・接客対応・言葉遣し でなく、集客方法の工夫やフラ	し、サロンワークとし いイレギュラーな対 イヤー作成など運	·応方法などを学ぶ 営に関わる様々な分野	
1 2 3 4 5 6 7 8 9	サロンワーク導入 1年次復習 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術	所練習 所練習 所練習 所練習 所練習	・施術時間・用具・施術内容だけで	エーションや施術内容を設定 『の管理・接客対応・言葉遣し でなく、集客方法の工夫やフラ	し、サロンワークとし いイレギュラーな対 イヤー作成など運	·応方法などを学ぶ 営に関わる様々な分野	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	サロンワーク導入 1年次復習 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術	所練習 所練習 所練習 所練習 所練習 所練習 所練習	・施術時間・用具・施術内容だけで	エーションや施術内容を設定 『の管理・接客対応・言葉遣し でなく、集客方法の工夫やフラ	し、サロンワークとし いイレギュラーな対 イヤー作成など運	·応方法などを学ぶ 営に関わる様々な分野	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	サロンワーク導入 1年次復習 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術	所練習 所練習 所練習 所練習 所練習 所練習 所練習	・施術時間・用具・施術内容だけで	エーションや施術内容を設定 『の管理・接客対応・言葉遣し でなく、集客方法の工夫やフラ	し、サロンワークとし いイレギュラーな対 イヤー作成など運	·応方法などを学ぶ 営に関わる様々な分野	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	サロンワーク導入 1年次復習 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術 サロンワーク技術	所練習 所練習 所練習 所練習 所練習 所練習 所練習	・施術時間・用具・施術内容だけで	エーションや施術内容を設定 『の管理・接客対応・言葉遣し でなく、集客方法の工夫やフラ	し、サロンワークとし いイレギュラーな対 イヤー作成など運	·応方法などを学ぶ 営に関わる様々な分野	

				シラバス			
				科目の基礎情報①			
	授業形態	実技	科目名		サロンワーク]	<u> Г — Е</u>	
	必修選択	選択必修	(学則表記)		サロンワーク		-1 10
	 年次	2年	開講 学科	トータルビューティ	/利	単位数 2	時間数 60
	ーー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	必要に応じたヘアメ				2	
	使用教材	必要に応じたへび		半記用兵規 科目の基礎情報②	出版社 -		
持	受業のねらい	マーケティング、サロ	コンマネジメント、原	顧客管理について学びサロン選	運営を行う		
	到達目標	現場実践を積み、打コミュニケーションナ		ける			
	評価基準			提出物30%、授業意欲20%			
	認定条件	出席が総時間数の	3分の2以上ある				
		成績評価が2以上の))者				
	関連資格						
	関連科目 	ビューティーカウンヤ	セラーメイク I II 				
	備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	実施する。			
	担当教員	広瀬 あみ			実務	経験	
	実務内容						
				各回の展開	習熟状況等	計により授業の展開が	変わることがあります
回数		単元			内容		
1	サロンワーク技術		-				
2	サロンワーク技術	所練習 ————————————————————————————————————	-				
3	サロンワーク技術	「練習	-				
4	サロンワーク技術	行練習					
5	サロンワーク技術	所練習 ————————————————————————————————————					
6	サロンワーク技術	·····································					
7	サロンワーク技術			エーションや施術内容を設定			ミレーションする
8	サロンワーク技術	 京練習		具の管理・接客対応・言葉遣い でなく、集客方法の工夫やフラ			予を学ぶ
9	サロンワーク技術	· 「練習	1				
10	サロンワーク技術	·····································	1				
11	サロンワーク技術	· 「練習	-				
12	サロンワーク技術	 f練習・テスト	-				
13	サロンワーク技術	· 「練習	-				
14	振り返り		-				
I	1		1				
15	総合授業		総まとめを行う				

				シラバス			
				科目の基礎情報①			
	授業形態	講義	科目名		エステティックカ	ウンセリング Ⅱ	
	必修選択	選択	(学則表記)		エステティックカ	ウンセリング I	
			開講			単位数	時間数
	年次	2年	学科	トータルビューティ	'一科	2	30
	使用教材	新エステティック学:	理論編Ⅰ-Ⅲ/	AEAテキスト(各項目)	出版社	日本エステティック協 日本エステティック業	
				科目の基礎情報②			
授	受業のねらい			因を考え、的確に状態を見極 える知識を身につける。	め、カウンセリング	シートを作成する。	
	到達目標	AEA上級認定エス -	テティシャン筆記	試験合格基準			
	評価基準	筆記試験40%・コン	·サルテーション4	10%・授業態度、提出物など2	0%		
	認定条件	・出席が総時間数の ・成績評価が2以上		6者			
	関連資格	AEA上級認定エス・ AJESTHE認定上級					
	関連科目	プロフェイシャル 🛚 ・	プロボディⅡ・サロ	コントリートメント・サロンワーク・コ	ニステティック総論	ì I	
	備考	原則、この科目は対	する 対象 対して できまる はっぱい かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいし	実施する。			
	担当教員	西村 多美 他	実務経験			0	
	実務内容			ックサロン、個人サロンにてエス などの経験を経て現在に至る。	、テティシャンとして	て勤務。フェイシャル実	技・ボディ実技・脱毛
						 記等により授業の展開か	····································
□ *		単元		各回の展開	内容		
回数 1	1年振り返り	+->-	1年生振り返り		ri合		
2	コンサルテーショ いて(ボディ)	シシートの記入につ	コンサルテーションシートの記入方法について(ボディ)				
2		ョンシートの記入につ レ)	コンサルテーショ	ョンシートの記入方法について(フェイシャル)		
	体のバランスと肌		 姿勢の判断やそ 内臓脂肪型と皮				
5	女性ホルモンと セルライトと水分				6 ①		
6	ホームケアアドバボディ	ベイス	運動学·栄養学	·食事指導			
7	ホームケアアド/ フェイシャル	バイス	運動学·栄養学	·食事指導			

コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問

コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問

コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問

肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる 成績評価②

運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる 成績評価③

肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる

運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる

総まとめを行う

8

10

11

12

13

14

15

AEA上級認定試験対策

AEA上級認定試験対策

AEA上級認定試験対策

コンサルテーションシートの フェイシャル記入について

コンサルテーションシートの ボディ記入について

口頭試問対策

口頭試問対策

総合授業

				シラバス			
				科目の基礎情報①			
	授業形態	講義	科目名		エステティックカウ	ıンセリングⅢ	
	必修選択	選択	(学則表記)		エステティックカウ	ıンセリングⅢ	
			開講			単位数	時間数
	年次	2年	学科	トータルビューティ	′一科	2	30
	使用教材	新エステティック学	理論編Ⅰ-Ⅲ/	AEAテキスト(各項目)		日本エステティック協日本エステティック業	
				科目の基礎情報②			
扫	受業のねらい			因を考え、的確に状態を見極 こる知識を身につける。	め、カウンセリングミ	シートを作成する。	
	到達目標	AEA認定上級エス・	テティシャン合格	基準			
	評価基準	筆記試験40%・コン	ノサルテーション4	0%・授業態度、提出物など2	0%		
	認定条件	·出席が総時間数の ·成績評価が2以上		者			
	関連資格	AEA上級認定エス・	テティシャン				
	関連科目	プロフェイシャル II・	プロボディⅡ・サロ	コントリートメント・サロンワーク・コ	エステティック総論	П	
	備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	実施する。			
	担当教員	西村 多美 他			実績	務経験	0
	実務内容			ックサロン、個人サロンにてエス よどの経験を経て現在に至る。	ステティシャンとして	勤務。フェイシャル実	技・ボディ実技・脱毛
				冬回の展開	習熟状況	等により授業の展開か	であることがあります
回数		· 単元		各回の展開	習熟状況 内容	等により授業の展開か	「変わることがあります
回数	AEA上級実技口筆記試験範囲			各回の展開		等により授業の展開か	変わることがあります
	AEA上級実技口	1頭試問対策		各回の展開		等により授業の展開か	変わることがあります
1	AEA上級実技口 筆記試験範囲 AEA上級実技口	I頭試問対策 I頭試問対策	-	各回の展開		等により授業の展開か	変わることがあります
1 2	AEA上級実技口筆記試験範囲 AEA上級実技口筆記試験範囲 AEA上級実技口	1頭試問対策 1頭試問対策 1頭試問対策		記範囲 コンサルテーション		等により授業の展開か	変わることがあります
1 2 3	AEA上級実技口 筆記試験範囲 AEA上級実技口 筆記試験範囲 AEA上級実技口 筆記試験範囲 AEA上級実技口	可可試問対策 可可試問対策 可可試問対策 可可試問対策	AEA上級試験筆 口頭試問 成績	記範囲 コンサルテーション		等により授業の展開か	変わることがあります
1 2 3 4	AEA上級実技口 筆記試級範囲 AEA上試級験等更用 AEA上試級験等更用 AEA上試級験等更用 AEA上試級験等更用 AEA上試級験等更用 AEA上試級等等更用 AEA上試験等更用 AEA上試験等更用	可頭試問対策 可頭試問対策 可頭試問対策 可頭試問対策 可頭試問対策 可頭試問対策 可頭試問対策		記範囲 コンサルテーション		等により授業の展開か	変わることがあります
1 2 3 4 5	AEA上級実技口 筆記試験範囲 AEA上試験範囲 AEA上試験範囲 AEA上試験範囲 AEA上試験範囲 AEA上試験範囲 AEA上級験範囲 AEA上級実技口	可頭試問対策 可頭試問対策 可頭試問対策 可頭試問対策 可頭試問対策 可頭試問対策 可頭試問対策		記範囲 コンサルテーション		等により授業の展開か	変わることがあります
1 2 3 4 5 6	AEA上級実技口 AEA上試験範囲口 AEA記試級験実範財工 AEA記試 AEA記試 AEA記試 AEA記試 AEA記述 A	I頭試問対策		記範囲 コンサルテーション		等により授業の展開か	変わることがあります
1 2 3 4 5 6 7	AEA上試 是報 支煙 AEAL試 上試 AEAL試 上試 AEAL試 上試 AEAL試 上試 AEALIX 上試	I頭試問対策	口頭試問 成績	記範囲 コンサルテーション評価④		等により授業の展開か	変わることがあります
1 2 3 4 5 6 7 8	AEA上級験実技口 AEA上試 上談 投鞭 実範 支距 AEAL試 上談 投験 実範 支距 AEAL試 上談 股験 天範 支距 AEAL試 上談 股験 級験 表談 級験 級験 表談 級験 表談 投票 AEAL試 上試 上試 上試 上試 上試 上試 上試 上談 股験 級験 実範 実範 実範 大型 AEAL試 AEAL AEAL AEAL AEAL AEAL AEAL AEAL	I頭試問対策	口頭試問成績	記範囲 コンサルテーション評価④		等により授業の展開か	変わることがあります
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	AEA上試 上試 上	I頭試問対策	口頭試問 成績	記範囲 コンサルテーション 評価④ 記範囲 コンサルテーション 評価④		等により授業の展開か	変わることがあります
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	AEA上試 集範 其型 AEA上試 上試 上試 上試 上試 上試 上試 上試 上試 上試 上試 上試 上試 上	I頭試問対策	口頭試問 成績 AEA上級試験筆口頭試問 成績	記範囲 コンサルテーション 評価④ コンサルテーション 評価④ 記試験模試		等により授業の展開か	変わることがあります
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	AEA上試 集範 其型 AEA上試 上試 上試 上試 上試 上試 上試 上試 上試 上試 上試 上試 上試 上	I頭試問対策	ロ頭試問 成績 AEA上級試験 成績評価⑤ 成績に変している。 AEA上級試売ショロ頭試売	記範囲 コンサルテーション 評価④ 記範囲 コンサルテーション 評価④ 記試験模試 記試験模試		等により授業の展開か	変わることがあります
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	AEA上試上試上試上試上試上試上試上試上試上試上試上試上試上試上試上試上試上試上	I頭試問対策	ロ頭試問 成績 AEA上級試験筆 ロ頭試問 成績 が続評価⑤ 筆 AEA上級試験 コンサルテーショ	記範囲 コンサルテーション 評価④ 記範囲 コンサルテーション 評価④ 記試験模試 記試験模試		等により授業の展開か	変わることがあります

科目の基礎情報① 授業形態 演習 科目名 サロントリートメント [必修選択 選択 (学則表記) サロントリートメント [開講 単位数 時間数 2 年次 2年 学科 トータルビューティー科 45 新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEAテキスト西洋・東洋のセラピー クリエーヌ化粧品セット 日本エステティック協会 日本エステティック業協会 使用教材 出版社 科目の基礎情報② 選択科目の知識、技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア・リンパレナージュ・アーユルヴェーダー 授業のねらい ・タラソテラピー・ストーンセラピー 到達目標 エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。 評価基準 実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 中上 恭子 担当教員 実務経験 \circ 1989年~2009年、エステティックサロンにて、エステティシャン・美容技術部講師として勤務。エステティシャンとしての現場で 実務内容 の施術、サロンの店長等の経験有。 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開

回数	単元	各回の展開 内容
1	サロントリートメント オリエンテーション	担当教員自己紹介・授業の方向付け、年間の学習内容と履修目標と前期成績評価
2	ハイドロテラピー	理論/タラソテラピーとは歴史・効果・注意・禁忌事項・応用 タラソパック デモンストレーション・実技演習
3	タラソテラピー	ソルトピーリング/海泥パック/海藻パックなど
4	リンパレナージュ	理論 リンパドレナージュとは(歴史・効果)/リンパ液・リンパ節について
5		理論 リンパレナージュ/注意・禁忌事項など基本手技/下肢後面・腰背部
6	総合まとめ	成績評価① 筆記テスト(タラソテラピー、リンパドレナージュ)
7		
8	AEA上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
9		
10	オリジナル・スウェディッシュマッサー ジ導入	オリジナル・スウェディッシュマッサージ導入
11		
12	 スウェディッシュマッサージ練習 	オリジナル・スウェディッシュマッサージ練習
13		
14	実技テスト	成績評価②実技テスト(スウェディッシュマッサージ)
15	総合授業	総まとめを行う

科目の基礎情報① 授業形態 演習 科目名 サロントリートメント 🏻 サロントリートメント 🏻 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 2 年次 2年 学科 トータルビューティー科 45 新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEAテキスト西洋・東洋のセラピー クリエーヌ化粧品セット 日本エステティック協会 日本エステティック業協会 使用教材 出版社 科目の基礎情報② 選択科目の知識、技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア・リンパレナージュ・アーユルヴェーダー 授業のねらい ・タラソテラピー・ストーンセラピー 到達目標 エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。 評価基準 実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 中上 恭子 担当教員 実務経験 \bigcirc 1989年~2009年、エステティックサロンにて、エステティシャン・美容技術部講師として勤務。エステティシャンとしての現場で 実務内容 の施術、サロンの店長等の経験有。 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 回数 単元 内容 オリエンテーション オリエンテーション 1 ペディキュア ペディキュア デモンストレーション・練習 2 3 ペディキュア ペディキュア練習 4 理論/東洋医学(西洋医学との違い・経絡・経穴) 5 東洋医学カッピング 基本手技/カッピング リフレクソロジ-理論/リフレクソロジー・ポドロジー ポドロジー 6 基本手技/東洋式·西洋式 7 理論/ストーンセラピー ストーンセラピー 基本手技/ストーンセラピー 8 9 代替療法 インド伝統医学の考え方と療法(理論) アーユルヴェーダー アーユルヴェーダーマッサージ(実技) 10 11 AJESTE上級 エステティシャン試験対策 【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 12 13 14 トリートメント総合 トリートメント総合 成績評価④筆記テスト(リフレクソロジー、ストーンセラピー、アーユルヴェーダー) 15 総合授業 総まとめを行う

科目の基礎情報① プロボディⅡ 授業形態 演習 科目名 必修選択 選択 (学則表記) プロボディⅡ 開講 単位数 時間数 年次 トータルビューティー科 60 2年 学科 2 新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅱ 日本エステティック協会 使用教材 出版社 AEAテキスト10冊セット・クリエーヌ化粧品セット 日本エステティック業協会 科目の基礎情報② ボディテクニック総合(資格試験対応)クライアンHこ対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器・ハンドテクニック・接客マナー 授業のねらい AEA上級認定エステティシャン合格基準 到達目標 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準 実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20% 評価基準 ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 AEA上級認定エステティシャン 関連資格 AJESTHE認定上級エステティシャン 関連科目 エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 担当教員 西村 多美 他 実務経験 \bigcirc 1998年~2006年、大手エステティックサロン、個人サロンにてエステティシャンとして勤務。フェイシャル実技・ボディ実技・脱毛 実技・カウンセラー・インストラクターなどの経験を経て現在に至る。 実務内容

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

		各回の展開
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	自己紹介・前期授業内容の説明、履修目標について解説 ボディ用化粧品ガイダンス・2年より導入の化粧品の導入(目的、効果、成分、使用法等) 1年次の復習(ボディチェック+マッサージ)
2	ボディ分析 コンサルテーションシートの記入	ボディチェック・運動生理学・姿勢・ポジショニング・採寸 AEAコンサルテーションシートの記入方法について
3		低周波
4	ボディ電気機器 交流電流	口答試問対策·解説 禁忌事項·操作方法
5		※連動教科:総論→電気学
6	ボディ電気機器	サクション 口答試問対策·解説
7	サクション	禁忌事項·操作方法 ※連動教科:総論→電気学
8	AEA上級	
9	エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 成績評価① 模擬試験
10		
11	ボディ電気機器	G5 口答試問対策·解説
12	G5	禁忌事項·操作方法 ※連動教科:総論→電気学
13	ボディ機器総合	ボディ機器 総合復習
14	パンプルメログルでロ	ボディ機器 総合復習 成績評価② 機器総合
15	総合授業	総まとめを行う

科目の基礎情報① プロボディⅢ 授業形態 演習 科目名 必修選択 選択 (学則表記) プロボディⅢ 開講 単位数 時間数 年次 トータルビューティー科 2年 学科 2 60 新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅱ 日本エステティック協会 使用教材 出版社 AEAテキスト10冊セット・クリエーヌ化粧品セット 日本エステティック業協会 科目の基礎情報② ボディテクニック総合(資格試験対応)クライアンHこ対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器・ハンドテクニック・接客マナー 授業のねらい AEA上級認定エステティシャン合格基準 到達目標 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準 実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20% 評価基準 ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 AEA上級認定エステティシャン 関連資格 AJESTHE認定上級エステティシャン 関連科目 エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 担当教員 西村 多美 他 実務経験 \bigcirc 1998年~2006年、大手エステティックサロン、個人サロンにてエステティシャンとして勤務。フェイシャル実技・ボディ実技・脱毛 実技・カウンセラー・インストラクターなどの経験を経て現在に至る。 実務内容 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

		各回の展開
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 脱毛理論	脱毛理論/体毛について毛髪学/成分/ワックス脱毛の目的と効果/成分/注意事項・禁忌事項 デモンストレーション
2		
3	脱毛 Wax (Warm)	ワックス実技演習 (腕・足) 成績評価① 脱毛試験
4		
5	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説
6		
7	ボディテクニック総合	カウンセリングシートの記入法・お通し カウンセリング・採寸・機器選択 ボディマッサージ アフターカウンセリング … 一連の流れで練習
8	クライアント実習	アクダー がりつもうフケー・・・・ 一達の流れ で練習 Wax脱毛 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
9		
10		
	AJESTE上級 エステティシャン	【試験練習】·試験の流れの説明 ·実技試験の流れで練習 脱毛含む
12	試験対策	成績評価② 模擬試験
13		
14	ボディテクニック総合	ボディテクニック総合 復習
15	総合授業	総まとめを行う

科目の基礎情報① 授業形態 演習 科目名 プロフェイシャル I -B 必修選択 選択 (学則表記) プロフェイシャル **I** -B 開講 単位数 時間数 年次 2年 トータルビューティー科 学科 90 新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅱ 日本エステティック協会 使用教材 出版社 AEAテキスト10冊セット・クリエーヌ化粧品セット 日本エステティック業協会 科目の基礎情報② フェイシャルテクニック総合(資格試験対応)クライアントに対応した知識、技術の習得する。 ・コンサルテーション・エステティック機器 授業のねらい ·ハンドテクニック·接客マナー AEA上級認定エステティシャン合格基準 到達目標 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準 評価基準 実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 AEA上級認定エステティシャン 関連資格 AJESTHE認定上級エステティシャン 関連科目 エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論 ・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 備考 ・6コマを3コマずつに分けてカリキュラムを週2回実施 中上 恭子 担当教員 実務経験 \circ 1989年~2009年、エステティックサロンにて、エステティシャン・美容技術部講師として勤務。エステティシャンとしての現場で 実務内容 の施術、サロンの店長等の経験有。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

		智熱状流寺により授業の展開が変わることがあります。 各回の展開
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	自己紹介・前期授業の説明、履修目標について解説 1年次振り返り 接客の基礎実践 ディープクレンジング復習
2	フェイシャル化粧品ガイダンス マスク(肌別・形状別)	2年より導入のフェイシャル化粧品の導入 (目的、効果、成分、使用法等)
	AEA上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
5		
6	AEA模擬試験	成績評価①
7	フェイシャル電気機器	イオントフォレーゼ・ディスインクラスステーション 実技理論・デモンストレーション含む
8	直流電流	※連動教科 (総論→電気学 ボディ→ガルバニック)
9	フェイシャル電気機器 サクション	パター 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科
10		(総論→解剖生理学 ボディ→サクション)
11	フェイシャル電気機器	高周波(直接法・間接法・閃光法)
12	高周波	実技理論・デモンストレーション含む
13	フェイシャル総合授業	成績評価②
14	オリジナルマッサージ スウェディッシュマッサージ練習	オリジナルマッサージ デモストレーション・実践
15	総合授業	総合授業を行う

				シラバス			
授業刑	形能	演習	科目名	科目の基礎情報①	プロフェイシ	אוו. III − R	
必修道		選択	(学則表記)		プロフェイシ	·	
بر روا نکر 	送 1八	医八	開講			単位数	時間数
年》	次	2年	学科	トータルビューテ	 ィー科	4	90
使用		新エステティック学 AEAテキスト10冊も			出版社	日本エステティック協 日本エステティック業	
		NENT - 1 X 1 10 E	-71 772 71	科目の基礎情報②		「日本土八)パイプク来	<u> </u>
授業の	ねらい	フェイシャルテクニッ ・コンサルテーション ・ハンドテクニック・指	ハエステティック村	験対応)クライアントに対応し <i>t</i> 機器	≥知識、技術の習	得	
到達目	目標	AEA上級認定エス ⁻ AJESTHE認定上級					
評価基	基準	実技試験60%/小	テスト20%/授業	態度・提出物など20%			
認定多	条件	·出席が総時間数の ·成績評価が2以上		5者			
関連資	 資格	AEA上級認定エス AJESTHE認定上級					
関連和	科目	エステティックカウン		テティック総論			
備者	考	・原則、この科目は ・6コマを3コマずつに					
担当者	教員	中上 恭子			集	務経験	0
実務区	内容	1989年〜2009年、 の施術、サロンの店		ナロンにて、エステティシャン・	美容技術部講師と	こして勤務。エステティシ	/ャンとしての現場で
				各回の展開	習熟状況	兄等により授業の展開カ	で変わることがあります
回数	<u>Ì</u>	単元		100000円	内容		
1 肌别·	・トラブル別の	の選択		リングシート作成 選択理由・イルいずれかを実施			
1 肌别·	・トラブル別の		【3コマ】メイク・ネ【3コマ】口答試問	リングシート作成 選択理由・	目的·効果		
1 肌別・皮膚・2	・トラブル別の	の選択 粧品学・機器	【3コマ】メイク・ネ 【3コマ】口答試版 【3コマ】メイク・ネ	リングシート作成 選択理由・ ・イルいずれかを実施 問対策・解説・禁忌事項・操作	目的·効果 F方法		
1 肌別・ 2 皮膚・ 3 アフタ 4 オリジスウェ	・トラブル別 生理学・香物 ターカウンセロ ジナルマッサ	の選択 粧品学・機器 リング	【3コマ】メイク・ネ 【3コマ】口答試版 【3コマ】メイク・ネ	リングシート作成 選択理由・ ベイルいずれかを実施 問対策・解説・禁忌事項・操作 ベイルいずれかを実施 ートに基づくアドバイス 理論的	目的·効果 F方法		
1 肌別・ 皮膚: 3 アフタ 4 オリジスウェ	・トラブル別 生理学・香物 ターカウンセロ ジナルマッサ	の選択 粧品学・機器 リング ージ	【3コマ】メイク・ネ 【3コマ】ロ答試院 【3コマ】メイク・ネ カウンセリングシ・ オリジナルマッサ	リングシート作成 選択理由・ ベイルいずれかを実施 問対策・解説・禁忌事項・操作 ベイルいずれかを実施 ートに基づくアドバイス 理論的	目的·効果 F方法		
1 肌別・ 2 水膚・ 3 アフタ 4 オリジ 5 AJES	・トラブル別・ 生理学・香物 ターカウンセリ ジナルマッサ ェデッシュマ・ STHE上級	の選択 粧品学・機器 リング ージ ッサージ練習	【3コマ】メイク・ネ 【3コマ】ロ答試院 【3コマ】メイク・ネ カウンセリングシ・ オリジナルマッサ デモンストレーシ	リングシート作成 選択理由・ ベイルいずれかを実施 問対策・解説・禁忌事項・操作 ベイルいずれかを実施 ートに基づくアドバイス 理論的 ナージ ヨン・実践	目的・効果 下方法 り解説・小テスト		
1 肌別・2 の	・トラブル別が 生理学・香物 ターカウンセリ ジナルマッサ ドデッシュマッ GTHE上級 テティシャン	の選択 粧品学・機器 リング ージ ッサージ練習	【3コマ】メイク・ネ 【3コマ】ロ答試院 【3コマ】メイク・ネ カウンセリングシ・ オリジナルマッサ デモンストレーシ	リングシート作成 選択理由・ ベイルいずれかを実施 問対策・解説・禁忌事項・操作 ベイルいずれかを実施 ートに基づくアドバイス 理論的	目的・効果 下方法 り解説・小テスト		
1 肌別・ 2 オリジ 5 AJES 7 エスラ	・トラブル別パ 生理学・香料 ターカウンセリンマッサママン・ ジェデッシュママン STHE上級 おテテ対策	の選択 粧品学・機器 リング ージ ッサージ練習	【3コマ】メイク・ネ 【3コマ】ロ答試院 【3コマ】メイク・ネ カウンセリングシ・ オリジナルマッサ デモンストレーシ	リングシート作成 選択理由・ ベイルいずれかを実施 問対策・解説・禁忌事項・操作 ベイルいずれかを実施 ートに基づくアドバイス 理論的 ナージ ヨン・実践	目的・効果 下方法 り解説・小テスト		
1 肌別・2 ポープタ オープラ ス・ウェ	・トラブル別パ 生理学・香料 ターカウンセリンマッサママン・ ジェデッシュママン STHE上級 おテテ対策	の選択 粧品学・機器 リング ージ ッサージ練習	【3コマ】メイク・ネ 【3コマ】ロ答試院 【3コマ】メイク・ネ カウンセリングシ・ オリジナルマッサデモンストレーシ 【試験練習】・試 成績評価③	リングシート作成 選択理由・ベイルいずれかを実施 問対策・解説・禁忌事項・操作・イルいずれかを実施 ートに基づくアドバイス 理論的 ナージ ヨン・実践 験の流れの説明 ・実技試験	目的・効果 下方法 り解説・小テスト		
1 肌別: 2 アフタ 4 オリジラ スウェ 6 AJES 7 試験: 8 早期 10 11	・トラブル別・ 生理学・香物 マーカウンセリ ジナルマッシュマッ STHE 上級 デテ策 試験	の選択 性品学・機器 リング ージ ツサージ練習	【3コマ】メイク・ネ 【3コマ】ロ答試情 【3コマ】メイク・ネ カウンセリングシ・ オリジナルマッサ デモンストレーシ 【試験練習】・試 成績評価③	リングシート作成 選択理由・ベイルいずれかを実施 間対策・解説・禁忌事項・操作・イルいずれかを実施 ートに基づくアドバイス 理論的 ナージ・コン・実践	目的・効果 下方法 り解説・小テスト		
1	・トラブル別が ・トラブル別が マーカウンセリッサマン ・アデッシューマンコンドルディン ・トラブル別が マーカウンセリッサマン ・アデット は ・アデット は ・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア	の選択 性品学・機器 リング ージ ツサージ練習	【3コマ】メイク・ネ 【3コマ】ロ答試情 【3コマ】メイク・ネ カウンセリングシ・ オリジナルマッサ デモンストレーシ 【試験練習】・試 成績評価③ クレンジング・カヴ	リングシート作成 選択理由・ベイルいずれかを実施 問対策・解説・禁忌事項・操作・イルいずれかを実施 ートに基づくアドバイス 理論的 ナージ ヨン・実践 験の流れの説明 ・実技試験	目的・効果 下方法 り解説・小テスト		
1	・トラブル別・ 生理学・香物 マーカウンセリ ジナルマッシュマッ STHE 上級 デテ策 試験	の選択 性品学・機器 リング ージ ツサージ練習	【3コマ】メイク・ネ 【3コマ】ロ答試情 【3コマ】メイク・ネ カウンセリングシ・ オリジナルマッサ デモンストレーシ 【試験練習】・試 成績評価③ クレンジング・カヴ	リングシート作成 選択理由・イルいずれかを実施 問対策・解説・禁忌事項・操作・イルいずれかを実施 ートに基づくアドバイス 理論的 ナージョン・実践 験の流れの説明・実技試験 ウンセリング(肌分析) ・ング・電気トリートメント ・ク・仕上げ・メイク・ネイル	目的・効果 下方法 り解説・小テスト		
1	・トラブル・トラブル・トラブル・トラブル・トラブル・トラブル・トラブル・トラウン マッカー マッカー マッカー マッカー マッカー マッカー マッカー マッカー	の選択 粧品学・機器 リング ージ ッサージ練習 ニック総合	【3コマ】メイク・ネ 【3コマ】ロ答試情 【3コマ】メイク・ネ カウンセリングシ・ オリジナルマッサ デモンストレーシ 【試験練習】・試 成績評価③ クレンジング・カヴ マッサージ・マス アフターカウンセ	リングシート作成 選択理由・イルいずれかを実施 問対策・解説・禁忌事項・操作・イルいずれかを実施 ートに基づくアドバイス 理論的 ナージ・ヨン・実践 験の流れの説明・実技試験 ウンセリング(肌分析) ング・電気トリートメント・ク・仕上げ・メイク・ネイル ピリング	目的・効果 方法 内解説・小テスト の流れで練習		
1	・トラブル別が ・トラブル別が マーカウンセリッサマン ・アデッシューマンコンドルディン ・トラブル別が マーカウンセリッサマン ・アデット は ・アデット は ・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア	の選択 粧品学・機器 リング ージ ッサージ練習 ニック総合	【3コマ】メイク・ネ 【3コマ】ロ答試情 【3コマ】メイク・ネ カウンセリングシ・ オリジナルマッサ デモンストレーシ 【試験練習】・試 成績評価③ クレンジング・カヴ マッサージ・マス アフターカウンセ	リングシート作成 選択理由・イルいずれかを実施 問対策・解説・禁忌事項・操作・イルいずれかを実施 ートに基づくアドバイス 理論的 ナージョン・実践 験の流れの説明・実技試験 ウンセリング(肌分析) ・ング・電気トリートメント ・ク・仕上げ・メイク・ネイル	目的・効果 方法 内解説・小テスト の流れで練習		

	シラバス						
		ı		科目の基礎情報①			
	授業形態	講義	科目名		エステティック	総論 I -B	
	必修選択	選択	(学則表記)		エステティック	総論 I -B	
			開講			単位数	時間数
	年次	2年	学科	トータルビューティ	一科 ————————————————————————————————————	2	30
	使用教材 新エステティック学理論編 I ーⅢ/AEAテキスト(各項目) 出版社 日本エステティック協会 日本エステティック業協会						
授	受業のねらい	エステティック知識・皮膚学・生理解剖・化粧品学・概論・	学・栄養学				
	到達目標	AEA上級認定エス・ AJESTHE認定上級					
	評価基準	筆記試験60%/小	テスト・ケースワー	-ク20%/授業態度、提出物な	ど20%		
	認定条件	·出席が総時間数の ·成績評価が2以上		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
	関連資格	AEA上級認定工ス- AJESTHE認定上級					
	関連科目	プロフェイシャル Ⅱ・	プロフェイシャル	Ⅱ・サロントリートメント・サロンワ-	ーク・エステティツ	クカウンセリング Ⅱ	
	備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。					
	担当教員	西村 多美 他	実務経験			0	
	実務内容			ックサロン、個人サロンにてエス などの経験を経て現在に至る。	テティシャンとして	ご勤務。フェイシャル実:	技・ボディ実技・脱毛
				各回の展開	習熟状況	と等により授業の展開が	変わることがあります
回数		単元		日四の成別	内容		
1	オリエンテーショ 救急法	ン	・救急法の基礎	知識・一次救命処置・主な症状	犬の救急手当・主	な事故の手当て	
2	電気理論		・電気が生じるし・化学結合の種	くみ 類 ·電気の基礎知識			
3	人体と電気 エステティック機	と	・体の中の電気(・エステティック)	のしくみ こおける生体電気の利用			
4	皮膚の構造・生	理機能	皮膚の構造と生	理機能			
5	トラブル肌と皮膚	真疾患		・アレルギー性疾患	-D (++)		
6	トラブル肌と皮膚 筆記試験	疾患	・バトビー性皮膚 	炎 ・その他の主な皮膚疾患	成績評価①		
7	・人体のあらまし糸	細胞·組織·器官	・人体のあらまし	・・人体の成り立ち			
8	22550.57		,, .: :55500				
9							
10	- TI WHA II VIVE	SOURCE AND HEAD	消化器糸(消化	器系のあらまし・各消化器官の	の(構造と働き)		
11	化粧品と薬機法 化粧品の品質と		・化粧品と医薬。	品医療機器等法 ・化粧品の品	品質と品質特性	・化粧品の分類と特徴	
12	AEA上級認定E 演習問題		AEA問題集の解	₹説を行いながら検定対策をす			
14	筆記試験		模擬試験 成績	評価②			

15 総合授業

総まとめを行う

### 1925 講覧 1918		シラバス						
###			Τ		科目の基礎情報①			
年次 2年 学科 トータルビューティー科 2 30 日本エステティック学型論唱 I - Ⅲ / AEA・テキスト(名 第日) 日本エステティック学会会 計画数 日本エステティック学会会 計画数 日本エステティック学会会 計画数 日本エステティック英会会 計画数 日本エステティック英会会 計画数 第上の数字・世報音学・改革子・心地は中、電子・選手を持ったいる。 14年 / 日本エステライ・クラ英会会 14年 / 日本エステライ・クラ英会会 14年 / 日本エステライ・シャン 1920年の中の第二年 14年 / 日本エステライ・シャン 1920年の日本 14年 / 1920年の日本 14年 / 1920年の日本 14年 / 1920年の日本 14年 / 1920年の日本 1920年の日本		授業形態	講義	科目名	科目名 エステティック総論 II -B			
年本次 2年 字科 トータルピューティー科 2 30		必修選択	選択		(学則表記) エステティック総論 I-B			
日本エステティックを理論権			T	開講			単位数	時間数
日本エステティック美協会		年次	2年	学科	学科 トータルビューティー科 2 30			30
表示の		使用教材	新エステティック学	理論編Ⅰ-Ⅲ/』	AEAテキスト(各項目)	出版社		
提案のおおい ・		1 1 1 1 1 1 1 1 1						
新価基準	挡	授業のねらい・・・皮膚学・生理解剖学・栄養学						
選定条件		到達目標						
現連資格		評価基準	筆記試験60%/小	テスト・ケースワー	ク20%/授業態度、提出物な	:ど20%		
関連科目		認定条件	・成績評価が2以上	の者	者			
### 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ### 担当教員 西村 多美 他 実務経験 ○ ま務経験 ○ ま務経験 ○ ま務内容 1998年~2006年、大手エステティックサロン、個人サロンにてエステティシャンとして勤務。フェイシャル実技・ボディ実技・脱毛実技・カウンセラー・インストラクターなどの経験を経て現在に至る。		関連資格						
担当教員 西村 多美 他 実務経験		関連科目	プロフェイシャル 🏻 ・	プロフェイシャル]	I ·サロントリートメント·サロンワ·	ーク・エステティツ	クカウンセリング Ⅱ	
実務内容 1998年~2006年、大手エステティックサロン、個人サロンにてエステティシャンとして勤務。フェイシャル実技・ボディ実技・脱毛実技・カウンセラー・インストラクターなどの経験を経て現在に至る。 審験状況等により授業の展開が変わることがあります ABORB開 内容 前期の振り返り 内容 前期の振り返り ・毛髪学標論・毛と毛包の構造・発毛のしくみと毛周期・美容脱毛技術者として知っておきたい病気 4 ・発毛のしくみと毛周期・美容脱毛技術者として知っておきたい病気 6 認定上級E筆記対策 1年・2年次の不足の補填 検定対策テキストの内容を実施・小テスト 7 8 成績評価③ AJESTHE上級試験範囲 コンサルテーション ロ頭試問 実技試験対策 成績評価④ ケースワーク 10 日本・経験に対策を囲いた。 2月		原則、この科目は対面授業形式にて実施する。						
実技・カウンセラー・インストラクターなどの経験を経て現在に至る。		担当教員	西村 多美 他			実	務経験	0
Page		実務内容				ステティシャンとして	て勤務。フェイシャル実	技・ボディ実技・脱毛
回数 単元 内容 前期の振り返り 前期の振り返り 前期の振り返り ・毛髪学概論・毛と毛包の構造 ・発毛のレスみと毛周期 ・美容脱毛技術者として知っておきたい病気 4 5 認定上級E筆記対策 検定対策テキストの内容を実施・小テスト 7 8					冬回の展問	習熟状況	記等により授業の展開か	変わることがあります
2	回数		 単元		日日の政団	内容		
照も字 ※プロボディIIにて実技導入 ・発毛のLくみと毛周期 ・美容脱毛技術者として知っておきたい病気 6 認定上級E筆記対策 1年・2年次の不足の補填 7 8 9 筆記試験 成績評価③ AJESTHE上級 模試 10 11 12 実技対策 コンサルテーション ロ頭試問 実技試験対策 成績評価④ ケースワーク	1	前期の振り返り		おまり作いだい				
3	L	10.000 c 2 加入 7 を 7		FIJ AMO / TIK 9 及9				
5	2				と毛包の構造			
日本・2年次の不足の補填 検定対策テキストの内容を実施・小テスト		脱毛学	こて実技導入	・毛髪学概論・毛・発毛のしくみと	 E周期			
6 1年・2年次の不足の補填 7 様定対策アキストの内容を実施・小アスト 9 筆記試験 10 成績評価③ AJESTHE上級 模試 10 11 12 認定上級E 実技対策 13 口頭試問 実技試験対策 成績評価④ ケースワーク	3	脱毛学	こて実技導入	・毛髪学概論・毛・発毛のしくみと	 E周期			
7 8 の	3 4	脱毛学	こて実技導入	・毛髪学概論・毛・発毛のしくみと	 E周期			
9 筆記試験 成績評価③ AJESTHE上級 模試 10 11 12 認定上級E 実技対策 13 工ンサルテーション 口頭試問 実技試験対策 成績評価④ ケースワーク	3 4 5	脱毛学 ※プロボディⅡに 認定上級E筆記	対策	・毛髪学概論・毛 ・発毛のしくみとキ ・美容脱毛技術:	E周期 者として知っておきたい病気			
10	3 4 5 6	脱毛学 ※プロボディⅡに 認定上級E筆記	対策	・毛髪学概論・毛 ・発毛のしくみとキ ・美容脱毛技術:	E周期 者として知っておきたい病気			
11	3 4 5 6	脱毛学 ※プロボディⅡに 認定上級E筆記	対策	・毛髪学概論・毛 ・発毛のしくみとキ ・美容脱毛技術:	E周期 者として知っておきたい病気			
ACESTRE L級試験範囲 コンサルテーション	3 4 5 6 7 8	脱毛学 ※プロボディⅡに 認定上級E筆記 1年・2年次の不	対策	・毛髪学概論・毛・発毛のしくみとき・美容脱毛技術を検定対策テキス	E周期 者として知っておきたい病気 トの内容を実施・小テスト			
12 認定上級E 実技対策 コンサルテーション 口頭試問 実技試験対策 成績評価④ ケースワーク 13 14	3 4 5 6 7 8	脱毛学 ※プロボディⅡに 認定上級E筆記 1年・2年次の不	対策	・毛髪学概論・毛・発毛のしくみとき・美容脱毛技術を検定対策テキス	E周期 者として知っておきたい病気 トの内容を実施・小テスト			
13 実技試験対策 成績評価④ ケースワーク 14 14	3 4 5 6 7 8 9	脱毛学 ※プロボディⅡに 認定上級E筆記 1年・2年次の不	対策	・毛髪学概論・毛・発毛のしくみとき・美容脱毛技術: 検定対策テキス 成績評価③ A	E周期 者として知っておきたい病気 トの内容を実施・小テスト ESTHE上級 模試			
14	3 4 5 6 7 8 9 10	脱毛学 ※プロボディIIに 認定上級E筆記 1年・2年次の不 筆記試験	対策	・毛髪学概論・毛 ・発毛のLくみとミ・美容脱毛技術: 検定対策テキス 成績評価③ A。 AJESTHE上級記コンサリエラー ロリカリ対問	E周期 者として知っておきたい病気 トの内容を実施・小テスト ESTHE上級 模試			
15 総合授業 総まとめを行う	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	脱毛学 ※プロボディIIに 認定上級E筆記 1年・2年次の不 筆記試験	対策	・毛髪学概論・毛・発毛のLくみとき・美容脱毛技術: 検定対策テキス 成績評価③ AJESTHE上ーン頭試験対策	E周期 者として知っておきたい病気 トの内容を実施・小テスト ESTHE上級 模試 は験範囲 ン			
	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	脱毛学 ※プロボディIIに 認定上級E筆記 1年・2年次の不 筆記試験	対策	・毛髪学概論・毛・発毛のLくみとき・美容脱毛技術: 検定対策テキス 成績評価③ AJESTHE上ーン頭試験対策	E周期 者として知っておきたい病気 トの内容を実施・小テスト ESTHE上級 模試 は験範囲 ン			

	シラバス							
	科目の基礎情報①							
	授業形態	講義	科目名	行口の金旋門取り		 ·策Ⅱ		
	必修選択	選択	(学則表記)					
			I 開講			単位数	時間数	
	年次	2年	学科	トータルビューティ	′一科	4	60	
	使用教材	JNAテクニカルシス ベーシック/アドバン ネイル用具一式		JL	出版社	NP0法人日本ネイリス	┝協会	
				科目の基礎情報②				
授	受業のねらい	1年次に学んだネイ	ル技術に加え、村	食定合格に繋がる知識・技術を	マスターし、実践	できる		
	到達目標	ネイルの基礎的な抗 検定上級まで取得	支術に加え、付け	爪技術のスカルプチュアやジュ	ニルネイルの知識	・技術をマスターし、ネー	イル検定1級・ジェル	
	評価基準	検定結果30%·授業態度他10%·筆記テスト30%·実技テスト30%						
	認定条件	·出席が総時間数の ·成績評価が2以上		3者				
	関連資格	JNECネイリスト検定	3級・2級・1級/	JNAジェルネイル検定初級・中	ı級·上級			
	関連科目	ネイルケア・ネイルフ	アートⅡ・ジェルネ	イルⅡ・検定対策Ⅱ/Ⅲ・検5	定対策&スカルフ	プチュア I / II		
	備考	原則、この科目は対	す	実施する。				
	担当教員	前田 恵里				務経験	0	
	実務内容	ネイルサロンにて7年 る。	手間ネイリストとし	て勤務した後、独立。現在まで	、プライベートネィ	(ルサロンにてネイルとス	くクールを行ってい	
				*	習熟状況	兄等により授業の展開か	 で変わることがあります	
回数				各回の展開	 内容			
	導入 1年次の復	1年間の巡業の流力						
2	JNEC2級検定の ジェル中級対策	との振り返り INFC2級の集流はジェルカ級に向けて実は練習						
3	ジェル中級対策							
4	ジェル中級対策	3	ジェル中級に向	けて実技練習				

回数	単元	内容
1	導入 1年次の復習	1年間の授業の流れ 1年次のジェルネイルの復讐
2	JNEC2級検定の振り返り ジェル中級対策①	JNEC2級の振返り ジェル中級に向けて実技練習
3	ジェル中級対策②	ジェル中級に向けて実技練習
4	ジェル中級対策③	ジェル中級に向けて実技練習
5	ジェル中級対策④	ジェル中級に向けて実技練習
6	ジェル中級対策⑤	ジェル中級に向けて実技練習
7	JNEC1級対策① または ジェル中級対策⑥	JNEC1級検定のセッティング及び流れを覚える
8	JNEC1級対策②	JNEC1級検定のセッティング及び流れを覚える
9	JNEC1級筆記模擬試験·対策	1級試験 筆記試験対策
10	JNEC1級対策③	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
11	JNEC1級対策④	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
12	JNEC1級対策⑤	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
13	実技テスト	実技テスト
14	筆記テスト 実技対策	筆記テスト 実技対策
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス							
			科目の基礎情報①				
授業形態	講義	科目名		検定対	策Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)		検定対	策Ⅱ		
		開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティ	·一科	4	60	
使用教材	JNAテクニカルシス ベーシック/アドバン ネイル用具一式	•	JL	出版社	NPO法人日本ネイリス	小協会	
			科目の基礎情報②		•		
授業のねらい	1年次に学んだネイ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる					
到達目標	ネイルの基礎的な技 検定上級まで取得	支術に加え、付け	爪技術のスカルプチュアやジェ	ルネイルの知識	・技術をマスターし、ネイ	イル検定1級・ジェル	
評価基準	検定結果30%·授	業態度他10%·	筆記テスト30%・実技テスト309	%			
認定条件	・出席が総時間数の ・成績評価が2以上		3者				
関連資格	JNECネイリスト検定	3級・2級・1級/	JNAジェルネイル検定初級・中	級·上級			
関連科目	ネイルケア·ネイルフ ・検定対策 Ⅱ / Ⅲ・						
備考	原則、この科目は対	一日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	実施する。				
担当教員	前田 恵里 実務経験 〇						
実務内容	ネイルサロンにて7年 る。	手間ネイリストとし	て勤務した後、独立。現在まで	、プライベートネイ	· ・ルサロンにてネイルとス	マクールを行ってい	

習熟状況等に	より授業の	展盟が変	わること	があります
白松仏ル守に	より]又来♡	/	1/2/	.なぬかみ

	音熱仏流寺により技業の展開か変わることがありまり 各回の展開						
回数	単元	内容					
1	JNEC1級対策①	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル					
2	JNEC1級対策②	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル					
3	ジェル上級対策①	ジェル上級検定について 説明と実技練習					
4	ジェル上級対策②	ジェル上級に向けて実技練習					
5	ジェル上級対策③	ジェル上級に向けて実技練習					
6	ジェル上級対策④	ジェル上級に向けて実技練習					
7	ジェル上級対策⑤	ジェル上級に向けて実技練習					
8	ジェル上級対策⑥	ジェル上級に向けて実技練習					
9	ジェル上級対策⑦	ジェル上級に向けて実技練習					
10	ジェル上級対策⑧	ジェル上級に向けて実技練習					
11	ジェル上級対策⑨	ジェル上級に向けて実技練習					
12	実技練習	振り返りの実施					
13	実技テスト	実技テスト					
14	筆記テスト 実技練習	筆記テスト 実技練習					
15	総合授業	総まとめを行う					

	シラバス						
	科目の基礎情報①						
	授業形態 	講義	科目名		検定対策&スカ		
	必修選択 ——————	選択	(学則表記)		検定対策&スカ 		5-1 BB W
	#\h	0.5	開講		. IN	単位数	時間数
	年次 ————————————————————————————————————	2年 INA = カニカリシュ	学科 = /	トータルビューティ	了一件 	4	60
JNAテクニカルシステム 使用教材 ベーシック/アドバンス/ジェルネイル 出版社 NPO法人日本ネイリスト協会 ネイル用具一式				小協会			
	科目の基礎情報②						
授	業のねらい	1年次に学んだネイ	ル技術に加え、村	食定合格レベルの知識技術を ⁻	マスターし、サロン	で通用するスカルプチ	ュア技術の習得する
	到達目標	付け爪技術のスカルトとしてサロンで通用		ルネイルの知識・技術をマスタ [、] への習得	一し、ネイル検定	1級・ジェル検定上級ま	で取得と共にネイリス
	評価基準	検定結果30%·授	業態度他10%⋅1	筆記テスト30%・実技テスト30	%		
	認定条件	・出席が総時間数の ・成績評価が2以上		5者			
	関連資格	JNECネイリスト検定	3級·2級·1級/	JNAジェルネイル検定初級・中	□級·上級		
	関連科目	ネイルケア・ネイルフ	7—トⅡ・検定対領	策Ⅱ/Ⅲ			
	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。						
	担当教員	大森 有花	実務経験			0	
	実務内容	2012年〜2018年 2018年に独立し、		スクールにて店長として勤務。 7ールを設立。			
				各回の展開	習熟状況	兄等により授業の展開か	が変わることがあります
回数		 単元		日四の成別	内容		
1	導入 1年次の行 1級実技説明	复習	1年間の授業の 1年次及びJNEC	流れ 22級の復習をUJNEC1級に向I	けて実技練習		
2	JNEC1級対策①)	1級検定のセッラ	級検定のセッティング及び流れを覚える 			
3	JNEC1級対策②		1級検定のセッティング及び流れを覚える				
4	JNEC1級対策③		1級検定のセッティング及び流れを完全にマスターする				
5	JNEC1級対策④		1級検定のセッティング及び流れを完全にマスターする				
6	JNEC1級対策⑤		JNEC1級検定に向けての実技練習				
7	JNEC1級対策⑥		JNEC1級検定に向けての実技練習				
8	JNEC1級対策⑦ 筆記テスト		JNEC1級検定に	に向けての実技練習 筆記テス	.		
9	9 JNEC1級対策® J			に向けての実技練習 タイムトラ	イアル		
10	10 JNEC1級対策⑨ JNEC1			向けての実技練習 タイムトラ	イアル		
11	JNEC1級対策®		JNEC1級検定に	向けての実技練習 タイムトラ	イアル		
12	JNEC1級対策①		JNEC1級検定に	こ向けての実技練習 タイムトラ	イアル		
13	3 実技テスト 実技テスト						

14 実技テスト

15 総合授業

実技テスト

総まとめを行う

シラバス								
			科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名		検定対策&スカ	ıルプチュア I			
必修選択	選択	(学則表記)		検定対策&スカ	ıルプチュア Ⅱ			
		開講			単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティ	′一科	4	60		
使用教材	JNAテクニカルシス ベーシック/アドバン ネイル用具一式	•	JIL	出版社	NPO法人日本ネイリス	小協会		
			科目の基礎情報②					
授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する							
到達目標	付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得と共にネイリストとしてサロンで通用する技術レベルへの習得							
評価基準	検定結果30%·授	業態度他10%·	筆記テスト30%・実技テスト30	%				
認定条件	・出席が総時間数の ・成績評価が2以上		3者					
関連資格	JNECネイリスト検定	3級・2級・1級/	JNAジェルネイル検定初級・中	ı級·上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルフ	アートⅡ・検定対領	策Ⅱ/Ⅲ					
備考	原則、この科目は対	一日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	実施する。					
担当教員	大森 有花			美	務経験	0		
実務内容	2012年~2018年 2018年に独立し、		スクールにて店長として勤務。 7ールを設立。					
						a 		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

	各回の展開					
回数	単元	内容				
1	JNEC1級検定内容確認 (筆記·実技)	1級検定について注意事項説明・筆記対策と実技練習				
2	JNEC1級対策①	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル				
3	JNEC1級対策②	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル				
4	スカルプチュア①	クリアスカルプチュア 実技10本				
5	スカルプチュア②	グラデーションスカルプチュア 実技10本				
6	スカルプチュア③	グラデーションスカルプチュア 実技10本				
7	スカルプチュア④	フレンチスカルプチュア デモ・実技				
8	スカルプチュア⑤	フレンチスカルプチュア 実技				
9	スカルプチュア⑥	フレンチスカルプチュア 実技 バーチャルフレンチスカルプチュア デモ				
10	スカルプチュア⑦	スピードスカルプチュア 相モデルで10本 ナチュラル使用				
11	スカルプチュア⑧	スピードスカルプチュア 相モデルで10本 ナチュラル使用				
12	スカルプチュア⑨	ジェルを載せるときのサロンでの長さだしの練習				
13	筆記試験 実技試験	筆記試験 実技試験				
14	実技試験	実技試験				
15	総合授業	総まとめを行う				

シラバス							
			科目の基礎情報①				
授業形態	演習	科目名		ジェルネ	イルⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)		ジェルネ	イル I		
		開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティ	/一科	2	60	
使用教材	JNAテクニカルシス ベーシック/アドバン ネイル用具一式		JIL	出版社	NP0法人日本ネイリス	l-協会	
			科目の基礎情報②				
授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様に説明して施術できる						
到達目標	ネイルの基礎的な抗	支術に加え、ジェ.	ルネイルの知識・技術をマスタ	ーし、ジェル検定.	上級まで取得		
評価基準	検定結果30%·授	業態度他10%・3	筆記テスト30%・実技テスト30	%			
認定条件	・出席が総時間数の ・成績評価が2以上		3者				
関連資格	JNECネイリスト検定	3級·2級·1級/	JNAジェルネイル検定初級・中	□級·上級			
関連科目	ネイルケア・ネイルフ	アートⅡ・検定対策	策Ⅱ / Ⅲ				
備考	原則、この科目は対	ーーーー 対面授業形式にて	実施する。				
担当教員	大森 有花			実	務経験	0	
実務内容	2012年~2018年 2018年に独立し、		スクールにて店長として勤務。 7ールを設立。				
		<u> </u>	<u> </u>	22 敦小江	子等により授業の展開か	「変わることがあります」	

習孰状況等に	トロは米の田田	まが亦わるー	レがも日士す
古が が、ボーデー	よ ひてる キリノ 肚 田	リカンタ オフタ) 二	と かかりま 9

	各回の展開						
回数	単元	内容					
1	導入・教材確認 ジェルデザイン実技①	教材説明・グラデーション・フレンチのデザインを学ぶ					
2	ジェルデザイン実技②	シールを埋めるやり方・ラインテープの貼り方・タテグラデ・逆フレンチなど様々なデザインを学ぶ					
3	スカルプ(クリア)デモ・実技	ジェルスカルプ(クリア)デモ・実技					
4	マシーンオフ・プレパ	マシーンオフとプレパレーション実技					
5	マシーンオフ+フィルイン+フィルイ ンベースのせ	マシーンオフ+フィルイン+フィルインベースのせ実技					
6	中級検定実技①	中級検定内容を学び技術をマスターする					
7	中級検定実技②	中級検定内容を学び技術をマスターする					
8	中級検定実技③	中級検定内容を学び技術をマスターする					
9	ジェル上級説明、チップオーバーレ イデモ実技	上級検定へ向けてジェルチップオーバーレイデモ実技(ナチュラル・フレンチ)を学ぶ					
10	ジェルチップオーバーレイ 実技	上級検定へ向けてジェルチップオーバーレイデモ実技(ナチュラル・フレンチ)を学ぶ					
11	ジェルアート実技①	上級検定のフラワーのジェルアートの技術をマスターする					
12	ジェルアート実技②	上級検定のフラワーのジェルアートの技術をマスターする					
13	実技テスト	実技テスト					
14	筆記テスト 実技練習	筆記テスト・実技練習					
15	総合授業	総まとめを行う					

シラバス						
科目の基礎情報①						
授業形態	演習	科目名		ジェルネ	イルⅢ	
必修選択 選択 (学則表記) ジェルネイルⅢ						
	開講 単位数 時間数					
年次	2年	学科	トータルビューティ	/一科	2	60
使用教材	JNAテクニカルシス・ ベーシック/アドバン ネイル用具一式		JI	出版社	NPO法人日本ネイリス	小協会
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様に説明して施術できる					
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術をマスターし、ジェル検定上級まで取得					
評価基準	検定結果30%·授	業態度他10%·₫	筆記テスト30%・実技テスト30	%		
認定条件	・出席が総時間数の ・成績評価が2以上		3者			
関連資格	JNECネイリスト検定	3級・2級・1級/	JNAジェルネイル検定初級・中	□級·上級		
関連科目	ネイルケア・ネイルフ	⁄ートⅡ・検定対領	策Ⅱ / Ⅲ			
備考	原則、この科目は対	面授業形式にて	実施する。			
担当教員	大森 有花			実	務経験	0
実務内容	2012年~2018年 2018年に独立し、		スクールにて店長として勤務。 7ールを設立。			
				習熟状況	兄等により授業の展開か	 で変わることがあります

	者熟状沈寺により授業の展開が変わることがあります。 各回の展開						
回数	単元	内容					
1	ジェルスカルプ実技	クリア・フレンチのジェルスカルプ実技					
2	ジェルスカルプ・チップオーバーレイ 実技	クリア・フレンチのジェルスカルプとジェルチップオーバーレイ実技					
3	ジェルスカルプ 実技(相モデル)	ジェルスカルプ実技(相モデル)					
4	上級検定実技①	ジェルネイル検定上級実技					
5	上級検定実技②	ジェルネイル検定上級実技					
6	上級検定実技③	ジェルネイル検定上級実技タイムトライアル					
7	上級検定実技④	ジェルネイル検定上級実技タイムトライアル					
8	デザインジェル・実技①	流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技					
9	デザインジェル・実技②	流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技					
10	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン①	様々なデザインのジェルネイルの実技、ジェルフィルイン実技					
11	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン②	様々なデザインのジェルネイルの実技、ジェルフィルイン実技					
12	ジェル実技(10本)相モデル①	サロンワークを意識して長さ出しやデザインなどのテーマを決めて施術を行う					
13	ジェル実技(10本)相モデル② 筆記テスト	サロンワークを意識して長さ出しやデザインなどのテーマを決めて施術を行う					
14	後期実技試験 (上級検定内容)	総復習として実技試験を行なう					
15	総合授業	総まとめを行う					

シラバス						
科目の基礎情報①						
授業形態	演習	科目名		コンテク	ストⅡ	
必修選択	必修選択 選択 (学則表記) コンテストⅡ					
		開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティ	/一科	1	30
使用教材	JNAテクニカルシス· ベーシック/アドバン ネイル用具一式		JIL	出版社	NP0法人日本ネイリス	小協会
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	授業内で技術を磨る	き競わせ、自身で	で諦めない気持ちやモチベーシ	ョンを向上させ維	持することを実践できる	3
到達目標	コンテスト入賞	コンテスト入賞				
評価基準	授業態度20%·実持	技テスト80%				
認定条件	・出席が総時間数の ・成績評価が2以上		3者			
関連資格	JNECネイリスト検定	3級・2級・1級/	JNAジェルネイル検定初級・中	□級·上級		
関連科目	ネイルケア・ネイルフ	アートⅡ・ジェルネ	·イル II			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。					
担当教員	教員 大森 有花 実務経験 O					0
実務内容	2012年~2018年 2018年に独立し、		スクールにて店長として勤務。 7ールを設立。			
				習孰状況	元等により授業の展開か	<u></u> 「変わることがあります

習熟状況等により授業の展開が変え	- フーI バナリナナ
多数状況表により受差(/) 展開が多れ	つん、とかめりま d

	各回の展開						
回数	単元	内容					
1	コンテスト予定確認 モデル選びについて	今後のコンテスト予定を確認し目標を立てさせ技術向上を意識付けする モデル選びの重要性、サロンワークや検定とのコンテストの違いを理解する					
2	ケア・カラー①	ジュニア・スチューデントケアの練習					
3	ケア・カラー②	ジュニア・スチューデントケアの練習					
4	ケア・カラー③	ジュニア・スチューデントケアの練習					
5	ケア・カラー④ 実技テスト	ジュニア・スチューデントケア 実技テスト					
6	アート①	チップ作成によるアート					
7	アート②	チップ作成によるアート					
8	アート④	チップ作成によるアート					
9	アート④ 作品提出	チップ作成によるアート 作品提出					
10	スカルプチュア①	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習					
11	スカルプチュア②	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習					
12	スカルプチュア③	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習					
13	スカルプチュア④	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習					
14	スカルプチュア④ 実技テスト	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ 実技テスト					
15	総合授業	総まとめを行う					

			シラバス			
科目の基礎情報①						
授業形態	演習	科目名	THE SERVICE OF THE SE	コンテス	≺⊦Ⅲ	
必修選択	必修選択 選択 (学則表記)					
		開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティ	′一科	1	30
使用教材	JNAテクニカルシス ベーシック/アドバン ネイル用具一式		JL	出版社	NPO法人日本ネイリス	小協会
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	授業内で技術を磨っ	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる				
到達目標	コンテスト入賞	コンテスト入賞				
評価基準	授業態度20%・実	技テスト80%				
認定条件	·出席が総時間数の ·成績評価が2以上		5者			
関連資格	JNECネイリスト検定	3級・2級・1級/	JNAジェルネイル検定初級・中	ı級·上級		
関連科目	ネイルケア・ネイルフ	アートⅡ・ジェルネ	·イル II			
備考	原則、この科目は対	面授業形式にて	実施する。			
担当教員	大森 有花			実	務経験	0
実務内容	2012年~2018年 2018年に独立し、		スクールにて店長として勤務。 7ールを設立。			
				習熟状況	兄等により授業の展開か	で変わることがあります
	W =		各回の展開			

回数	単元	各回の展開 内容
1	ケア・カラー①	スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技
2	ケア・カラー②	スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技
3	ケア・カラー③ 実技テスト	スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技テスト
4	ジェル①	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
5	ジェル②	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
6	ジェル③	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
7	ジェル④ 実技テスト	ジェル部門実技テスト、または作品提出
8	アート①	チップ作成またはデザインイクステンションなどコンテスト内容に順じたアート実技
9	アート②	チップ作成またはデザインイクステンションなどコンテスト内容に順じたアート実技
10	アート③ 作品提出	アート部門実技作品提出
11	スカルプチュア①	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
12	スカルプチュア②	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
13	スカルプチュア③	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
14	スカルプチュア④ 実技テスト	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス							
				科目の基礎情報①			
	授業形態	演習	科目名		ネイル・	ケア Ⅱ 	
	必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケアⅡ			
			開講			単位数	時間数
	年次 ————————————————————————————————————	2年	学科	トータルビューティ	/一科 	2	45
	使用教材		ステム ヾンス/ジェルネイル	ジェルネイル 出版社 NPO法人日本ネイリスト協:			い協会
		ネイル用具一式		科目の基礎情報②			
挡	受業のねらい	トリートメント・フット る	やマシーン技術も含め	り、全てのネイル技術の基本	「であるケアをマ)	スターして、更なる技術	向上を目指し実践す
	到達目標	短い施術時間内で	で無駄の無い正確な打	支術を行うことが出来る			
	評価基準	授業態度他20%	·筆記テスト40%·実	技テスト40%			
	認定条件	・出席が総時間数 ・成績評価が2以	(の3分の2以上ある者 上の者	Í			
	関連資格	JNECネイリスト検	=====================================	Aジェルネイル検定初級・中	□級·上級		
	関連科目	ネイル教科全般					
	備考	原則、この科目は	対面授業形式にて実	施する。			
	担当教員	高畑 佳代子		実務経験			0
	実務内容	2002年~2005年	、ネイルサロンにてネイリストとして勤務。 2005年~ネイルサロンを営業。				
				各回の展開	習熟状	況等により授業の展開な	が変わることがあります
回数		単元		H H-AWA	内容		
1	1年次復習		これまでの振返りと2級検定振返り				
2	ハンドケア トリートメント理詞	角	マシーンを使用してのケア方法とトリートメントについて学ぶ				
3	フットケア①		メタルプッシャーを使用した、トリートメント、カラー				
4	フットケア②		メタルプッシャーを使用した、トリートメント、カラー				
5	フットケア③		ネイルマシーンを使用した、トリートメント、カラー				
6	フットケア④		ネイルマシーンを使用した、トリートメント、カラー				
7	ハンドケア⑤		ネイルマシーンを使用した、トリートメント、カラー				
8	ハンドケア⑥		ネイルマシーンを使用した、トリートメント、カラー				
9	ケア、カラー		ラウンドの練習 色々なカラーリングの練習				
10	ハンドケア(マシ カラー①		ネイルマシーンを使	ネイルマシーンを使用したケアと色々なカラーリングの練習/アート練習			
11	ハンドケア(マシ カラー②	·一ン) 	ネイルマシーンを使用したケアと色々なカラーリングの練習/アート練習				
12	実技テスト		実技テスト ハンドク	ケア・マシーン			
13	実技テスト		実技テスト ハンドク	ケア・マシーン			
14	筆記テスト		筆記テスト ケア・カラー				

15 総合授業

総まとめを行う

	シラバス						
科目の基礎情報①							
	授業形態	演習	科目名		ネイル・	ケアⅢ	
	必修選択	選択	(学則表記)		ネイル・	ケアⅢ	
			開講			単位数	時間数
	年次	2年	学科	トータルビューテ	7一科	2	45
	使用教材	JNAテクニカルシス ベーシック/アドバ ネイル用具一式			出版社	NPO法人日本ネイリス	┝協会
		トリートメント・フットや	bマシーン技術も含	科目の基礎情報② 含め、全てのネイル技術の基準	木であるケアをマ	スターして 再かる技術の	カトを日指し宝践す
	授業のねらい	3	()) (ii) (ii)	100、主(6)中中,以民间の至。	+ (0)0/// 2 (/		
	到達目標	短い施術時間内で	無駄の無い正確な	な技術を行うことが出来る			
	評価基準	授業態度他20%・	筆記テスト40%・	実技テスト40%			
	認定条件	·出席が総時間数6 ·成績評価が2以上		6者			
	関連資格	JNECネイリスト検定	3級・2級・1級/	JNAジェルネイル検定初級・「	中級・上級		
	関連科目	ネイル教科全般					
	備考	原則、この科目は対	対面授業形式にて	実施する。			
	担当教員 高畑 佳代子				5	実務経験	0
実務内容 2002年~2005年			、ネイルサロンにて	こネイリストとして勤務。 2005	5年~ネイルサロン	ノを営業	
						· C 1 X 0	
						況等により授業の展開か	変わることがあります
回数		- 単元		各回の展開			変わることがあります
回数	ケア、カラー①	単元	マシーンでのケフ	各回の展開 アと色々なカラーを練習 様々	習熟状.	況等により授業の展開か	
	_	単元			習熟状: 内容 マなカットスタイル	況等により授業の展開か にも対応できるように学え	,°
1	ケア、カラー①	単元	マシーンでのケフ	アと色々なカラーを練習 様々	習熟状: 内容 マなカットスタイルロマなカットスタイルロ	況等により授業の展開か にも対応できるように学え にも対応できるように学え),),
1 2	ケア、カラー① ケア、カラー②		マシーンでのケフマシーンでのケフ	アと色々なカラーを練習 様々 アと色々なカラーを練習 様々	習熟状: 内容 マなカットスタイル マなカットスタイル マなカットスタイル	況等により授業の展開か にも対応できるように学え にも対応できるように学え),),
2	ケア、カラー① ケア、カラー② ケア、カラー③	·メント·ジェル①	マシーンでのケフ マシーンでのケフ ジェルを取り入れ	アと色々なカラーを練習 様々 アと色々なカラーを練習 様々 アと色々なカラーを練習 様々	習熟状: 内容 マなカットスタイル マなカットスタイル マなカットスタイル マなカットスタイル マなカットスタイル ー)を学ぶ	況等により授業の展開か にも対応できるように学え にも対応できるように学え),),
1 2 3 4	ケア、カラー① ケア、カラー② ケア、カラー③ フットケア・トリート	〜メント・ジェル① 〜メント・ジェル② 〜ン)	マシーンでのケフ マシーンでのケフ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ	アと色々なカラーを練習 様々 アと色々なカラーを練習 様々 アと色々なカラーを練習 様々 ルたフットケア(メタルプッシャー	習熟状: 内容 マなカットスタイル マなカットスタイル マなカットスタイル ー)を学ぶ ー)を学ぶ	況等により授業の展開か にも対応できるように学え にも対応できるように学え),),
1 2 3 4 5	ケア、カラー① ケア、カラー② ケア、カラー③ フットケア・ドリート フットケア・ドリート	トメント・ジェル① トメント・ジェル② -ン) :ル① -ン)	マシーンでのケフ マシーンでのケフ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ	アと色々なカラーを練習 様々 アと色々なカラーを練習 様々 アと色々なカラーを練習 様々 ルたフットケア(メタルプッシャー ルたフットケア(メタルプッシャー	習熟状: 内容 マなカットスタイル マなカットスタイル マなカットスタイル ー)を学ぶ ー)を学ぶ	況等により授業の展開か にも対応できるように学え にも対応できるように学え),),
1 2 3 4 5 6	ケア、カラー① ケア、カラー② ケア、カラー③ フットケア・ドリートフットケア(マシートリートメント・ジェフットケア(マシーフットケア(マシーフットケア(マシー	¬メント・ジェル① ¬メント・ジェル② ¬ン) :ル① ¬ン) :ル② ¬ン)	マシーンでのケフ マシーンでのケフ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ	アと色々なカラーを練習 様々 アと色々なカラーを練習 様々 アと色々なカラーを練習 様々 ルたフットケア(メタルプッシャー ルたフットケア(メタルプッシャー ルたフットケア(メタルプッシャー	習熟状: 内容 マなカットスタイル マなカットスタイル マなカットスタイル マなカットスタイル ー)を学ぶ を学ぶ を学ぶ	況等により授業の展開か にも対応できるように学え にも対応できるように学え),),
1 2 3 4 5 6 7	ケア、カラー① ケア、カラー② ケア、カラー③ フットケア・ドリート フットケア・ドリート フットケア(マシートリートメント・ジェ フットケア(マシートリートメント・ジェ フットケア(マシートリートメント・ジェ	トメント・ジェル① トメント・ジェル② -ン) :ル① -ン) :ル② -ン) :ル③ -ン)	マシーンでのケフ マシーンでのケフ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ	アと色々なカラーを練習 様々 アと色々なカラーを練習 様々 アと色々なカラーを練習 様々 ルたフットケア(メタルプッシャー ルたフットケア(メタルプッシャー ルたフットケア(ネイルマシン) 8	習熟状: 内容 マなカットスタイルロマなカットスタイルロマなカットスタイルロー)を学ぶ を学ぶ を学ぶ を学ぶ	況等により授業の展開か にも対応できるように学え にも対応できるように学え),),
1 2 3 4 5 6 7 8	ケア、カラー① ケア、カラー② ケア、カラー③ フットケア・ドリー・ フットケア・ドリー・ フットケア(マシー・ドリー・メント・ジェ フットケア(マシー・ドリー・メント・ジェ フットケア(マシー・ドリー・メント・ジェフットケア(マシー・メント・ジェフットケア(マシー・フットケア(マシーマシーンオフ①	トメント・ジェル① トメント・ジェル② -ン) :ル① -ン) :ル② -ン) :ル③ -ン)	マシーンでのケフ マシーンでのケフ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ	アと色々なカラーを練習 様々 アと色々なカラーを練習 様々 アと色々なカラーを練習 様々 ルたフットケア(メタルプッシャー ルたフットケア(メタルプッシャー ルたフットケア(ネイルマシン) 8 ルたフットケア(ネイルマシン) 8 ルたフットケア(ネイルマシン) 8	習熟状: 内容 マなカットスタイル マなカットスタイル マなカットスタイル ー)を学ぶ を学ぶ を学ぶ を学ぶ	況等により授業の展開か にも対応できるように学え にも対応できるように学え),),
1 2 3 4 5 6 7 8 9	ケア、カラー① ケア、カラー② ケア、カラー③ フットケア・ドリード フットケア(マシードリートメント・ジェ フットケア(マシードリートメント・ジェ フットケア(マシードリートメント・ジェ フットケア(マシードリートメント・ジェ	トメント・ジェル① トメント・ジェル② -ン) :ル① -ン) :ル② -ン) :ル③ -ン)	マシーンでのケフ マシーンでのケフ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ	アと色々なカラーを練習 様々 アと色々なカラーを練習 様々 アと色々なカラーを練習 様々 ルたフットケア(メタルプッシャー ルたフットケア(メタルプッシャー ルたフットケア(ネイルマシン) 3 ルたフットケア(ネイルマシン) 3 ルたフットケア(ネイルマシン) 3 ルたフットケア(ネイルマシン) 3	習熟状: 内容 マなカットスタイル マなカットスタイル マなカットスタイル ー)を学ぶ モ学ぶ モ学ぶ モ学ぶ ・オフ	況等により授業の展開か にも対応できるように学え にも対応できるように学え),),
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	ケア、カラー① ケア、カラー② ケア、カラー③ フットケア・ドリー・ フットケア・ドリー・ フットケア(マシー・ドリートメント・ジェ フットケア(マシー・リートメント・ジェ フットケア(マシー・リートメント・ジェフットケア(マシーフナフ① フットケア(マシーマシーンオフ①	トメント・ジェル① トメント・ジェル② -ン) :ル① -ン) :ル② -ン) :ル③ -ン)	マシーンでのケフ マシーンでのケフ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ズェルを取り入れ ズェルを取り入れ	アと色々なカラーを練習 様々 アと色々なカラーを練習 様々 アと色々なカラーを練習 様々 ルたフットケア(メタルプッシャー ルたフットケア(メタルプッシャー ルたフットケア(ネイルマシン) を ルたフットケア(ネイルマシン) を ルたフットケア(ネイルマシン) を ルたフットケア(ネイルマシン) を ルたフットケア(ネイルマシン) を ルたフットケア(ネイルマシン) を ルたフットケア(ネイルマシン) を ルたフットケア(ネイルマシン) を	習熟状: 内容 マなカットスタイル マなカットスタイル マなカットスタイル ー)を学ぶ モ学ぶ モ学ぶ モ学ぶ ・オフ	況等により授業の展開か にも対応できるように学え にも対応できるように学え),),
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	ケア、カラー① ケア、カラー② ケア、カラー③ フットケア・ドリード フットケア・ドリード フットケア(マシードリートメント・ジェ フットケア(マシードリートメント・ジェ フットケア(マシードリートメント・ジェ フットケア(マシーフットケア(マシーンオフ① フットケア(マシーマシーンオフ②	トメント・ジェル① トメント・ジェル② -ン) :ル① -ン) :ル② -ン) :ル③ -ン)	マシーンでのケフ マシーンでのケフ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ ジェルを取り入れ スイルマシンを使 ネイルマシンを使 実技試験 フット	アと色々なカラーを練習 様々 アと色々なカラーを練習 様々 アと色々なカラーを練習 様々 ルたフットケア(メタルプッシャー ルたフットケア(メタルプッシャー ルたフットケア(ネイルマシン) 3 ルたフットケア(ネイルマシン) 3 ルたフットケア(ネイルマシン) 3 ルたフットケア(ネイルマシン) 3 ルたフットケア(ネイルマシン) 3 ルたフットケア(ネイルマシン) 3 ルたフットケア(ネイルマシン) 3 ルたフットケア(ネイルマシン) 3 ルたフットゲェルのマシーン	習熟状: 内容 マなカットスタイル マなカットスタイル マなカットスタイル ー)を学ぶ モ学ぶ モ学ぶ モ学ぶ ・オフ	況等により授業の展開か にも対応できるように学え にも対応できるように学え),),
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	ケア、カラー① ケア、カラー② ケア、カラー③ フットケア・ドリート フットケア・ドリート フットケア・ドリート フットケア・ドリートメント・ジェ フットケア・ジェ	トメント・ジェル① トメント・ジェル② -ン) :ル① -ン) :ル② -ン) :ル③ -ン)	マシーンでのケフ マシーンでのケフ ジェルを取り入れ	アと色々なカラーを練習 様々 アと色々なカラーを練習 様々 アと色々なカラーを練習 様々 ルたフットケア(メタルプッシャー ルたフットケア(メタルプッシャー ルたフットケア(ネイルマシン) 8 ルたフットケア(ネイルマシン) 8 ルたフットケア(ネイルマシン) 8 ルたフットケア(ネイルマシン) 8 ルたフットケア(ネイルマシン) 8 ルたフットゲア(ネイルマシン) 8 ルたフットゲア(ネイルマシン) 8 ルたフットゲェルのマシーン	習熟状: 内容 マなカットスタイル マなカットスタイル マなカットスタイル マなカットスタイル ー)を学ぶ を学ぶ を学ぶ を学ぶ ・オフ ・オフ	況等により授業の展開か にも対応できるように学え にも対応できるように学え),),

シラバス							
科目の基礎情報①							
授業形態 演習 科目名 ネイルアートⅡ							
必修選択	選択	(学則表記)		ネイルア			
		開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティ	7一科	2	45	
使用教材	JNAテクニカルシス・ ベーシック/アドバン ネイル用具一式		JL	出版社	NPO法人日本ネイリス	· 卜協会	
			科目の基礎情報②				
授業のねらい	ポリッシュアートなどのフラットアートから3Dアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する						
到達目標	様々なデザインを考	家し、お客様のと	どのような要望にも応えられ、技	是供できる			
評価基準	作品提出90%·授	業態度他10%					
認定条件	・出席が総時間数の ・成績評価が2以上		3者				
関連資格	JNECネイリスト検定	3級・2級・1級/	JNAジェルネイル検定初級・中	□級·上級			
関連科目	ネイル教科全般						
備考	原則、この科目は対	面授業形式にて	実施する。				
担当教員	森 真理子 実務経験 〇						
実務内容			店長として勤務。施術の他、店 して活動し、2009年より自宅サ		の教育を担当。		
				習熟状況	兄等により授業の展開か	「変わることがあります	

	省熟状沈寺により授業の展開が変わることがあります。 各回の展開						
回数	単元	内容					
1	導入 作品紹介 2級検定実技	1年間の授業の流れ作品紹介 コンテスト作品を仕上げるコツ等を学ぶ 2級アート実技練習					
2	エンボスアート基礎	エンボスアート基礎 ミクスチュアの取り方、ハートなど					
3	エンボスアート①	エンボスの基本的な花やモチーフの実技					
4	エンボスアート②	エンボスの基本的な花やモチーフの実技					
5	3Dアート基礎	3Dの基本的な花やモチーフの実技					
6	3Dアート応用	3Dアート応用の花やモチーフの実技					
7	3Dアート(検定用)	検定用3Dアードに実技					
8	エアーブラシ基礎	ライン・ドット等シート練習 組立・掃除等のメンテナンスを覚える					
9	エアーブラシ応用①	ライン・ドット・ステンシールなどを使用したシート練習					
10	エアーブラシ応用②	ライン・ドット・ステンシールなどを使用したシート練習					
11	ミックスメディアアート①	フラット・エンボス・3Dの技法を取り入れたアート作品を作る					
12	ミックスメディアアート②	フラット・エンボス・3Dの技法を取り入れたアート作品を作る 作品提出					
13	検定用アート①	1級検定アートのタイムトライアル					
14	検定用アート②	1級検定アートのタイムトライアル 作品提出					
15	総合授業	総まとめを行う					

シラバス							
科目の基礎情報①							
授業形態	演習	科目名		ネイルア	′ —トⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)		ネイルアートⅢ			
		開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティ	'一科	2	45	
使用教材	JNAテクニカルシス ベーシック/アドバン ネイル用具一式			出版社 NPO法人日本ネイリスト協会			
			科目の基礎情報②				
授業のねらい	ポリッシュアートなどのフラットアートから3Dアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する						
到達目標	様々なデザインを考案し、お客様のどのような要望にも応えられ、提供できる						
評価基準	作品提出90%·授業態度他10%						
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者・成績評価が2以上の者						
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級						
関連科目	ネイル教科全般						
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。						
担当教員	森 真理子 実務経験			0			
実務内容	2004年~2005年、ネイルサロンの店長として勤務。施術の他、店舗運営、スタッフの教育を担当。 2005年~フリーランスのネイリストとして活動し、2009年より自宅サロンを始める。						
	•			習熟状》	兄等により授業の展開が	変わることがあります	
回数			各回の展開	 内容			
1 検定用アート①		1級検定アートの)実技				
2 検定用アート③ タイムトライアル		1級検定アートのタイムトライアル					
3 検定用アート② タイムトライアル		1級検定アートのタイムトライアル 作品提出					
4 デザインスカルフ デモ・実技	プチュア①	デザインスカルプチュアを学び習得する					
5 デザインスカルフ	プチュア②	ア② デザインスカルプチュアを学び習得する					
6 トレンドアート①		トレンドのネイルフ	アートの技術を学ぶ				

トレンドのネイルアートの技術を学ぶ

2年間の総復習

2年間の総復習

2年間の総復習

総まとめを行う

2年間の総復習 作品提出

テーマと技法(エアー・フラットなど)を決めて作品を制作する

サロンワークに対応するアートのタイムトライアル

テーマと技法(エアー・フラットなど)を決めて作品を制作する 作品提出

トレンドアート2

作品制作①

作品制作②

10 タイムトライアル

11 卒業制作①

12 卒業制作②

13 卒業制作③

14 卒業制作④

15 総合授業

シラバス							
科目の基礎情報①							
授業形態	実習	科目名	インターンシップ Ⅱ - Ι				
必修選択	選択	(学則表記)		インターンシップ Ⅱ - Ⅰ			
開講					単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティ	7一科	1	45	
使用教材	インターンシップ手巾	Ę		出版社	-		
科目の基礎情報②							
授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける						
到達目標	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物事の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる						
評価基準	①企業側評価75%評価表にて採点) ②学校側評価25%レポート提出にて採点)						
認定条件	・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者						
関連資格							
関連科目							
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。						
担当教員	金永 真利那			務経験			
実務内容							

シラバス							
科目の基礎情報①							
授業形態 	実習	科目名	インターンシップⅢ — Ι				
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ — I				
開講					単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティ	'一科	1	45	
使用教材	インターンシップ手巾	툱		出版社	-		
	科目の基礎情報②						
授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける						
到達目標	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物事の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる						
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)						
認定条件	・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者						
関連資格							
関連科目							
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。						
担当教員	金永 真利那			実	実務経験		
実務内容							